

令和元年度

# 市民アンケート実施結果

報告書

令和元年 8 月

鹿角市総務部政策企画課総合戦略室



## 目 次

I	実施概要	2
II	回収状況	3
III	調査の総括	5
IV	設問別集計結果	13
1	子育て支援について	14
2	公共交通について	18
3	地域情報化について	22
4	中心市街地について	26
5	男女共同参画の状況について	27
6	芸術鑑賞について	29
7	コモッセの利用状況について	32
8	運動の実施状況について	34
9	地域コミュニティについて	36
10	住みごころについて	38
11	愛着について	42
12	将来のまちの姿について	44
13	市の政策について	46
14	自由意見	52
資料	令和元年度市民アンケート回答票	63

# I 実施概要

## 1 実施目的

本市では、平成 23 年度から令和 2 年度を計画期間とする「第 6 次鹿角市総合計画（以下、「総合計画」と呼びます。）」において、市の将来のあるべき姿として、「笑顔がつながり活力を生むまち・鹿角」を将来都市像として定め、その実現を目指しています。この調査は、総合計画の推進を図るため、市が導入している行政評価制度の外部評価の一環として、総合計画を構成する各施策の進捗状況を成果指標として確認するほか、施策の効果とニーズ（需要）を調査・把握するとともに、市民の意識や意見等を集約し、今後の施策推進に活用することを目的としています。

## 2 設問構成

設問	設問の趣旨	担当課
1 あなた自身について	居住地区、性別、年代、世帯構成、職業、子育て状況の確認	—
2 子育て支援について	子育てしやすいまちだと感じる割合と必要と感じる支援の把握	子育て・長寿課
3 公共交通について	バス等の利用頻度と不便を感じる方の割合の把握	市民共働課
4 地域情報化について	インターネット利用状況の把握	総務課
5 中心市街地について	中心市街地の生活環境に対する満足度と不満要因の把握	総合戦略室
6 男女共同参画の状況について	地域内の共同参画状況の把握	市民共働課
7 芸術鑑賞について	芸術鑑賞した割合の把握	生涯学習課
8 コモッセの利用状況について	コモッセの利用状況の把握	生涯学習課
9 運動の実施状況について	運動や生活活動の頻度とその時間の把握	スポーツ振興課
10 地域コミュニティについて	社会活動、地域活動への参加頻度の把握	市民共働課
11 住みごごちについて	鹿角市の住みごごちに対する満足度と理由の把握	総合戦略室
12 愛着について	鹿角市に愛着を持っている方の割合の把握	総合戦略室
13 将来のまちの姿について	将来を豊かに暮らすために大切だと思うまちの姿の把握	総合戦略室
14 市の政策について	施策効果と市民ニーズを調査し、施策評価と優先度等を検討	総合戦略室
15 自由記入	—	—

## 3 実施期間

令和元年 5 月 30 日（木）～6 月 14 日（金）まで

## 4 実施対象

令和元年 5 月 30 日時点で住民基本台帳に登録されている方のうち、無作為によって抽出した満年齢 18 歳から 74 歳までの市民 700 人。抽出にあたっては性別、年齢、地域条件を考慮し均衡を図ったほか、平成 28 年度から 30 年度までの市民アンケート調査対象者を除いています。

## 5 実施方法

- (1) 配付 自治会長及び広報等配布員による配付（一部郵送）
- (2) 回収 職員による回収及び郵便（受取人払い）による回収

## II 回収状況

### 1 回収率

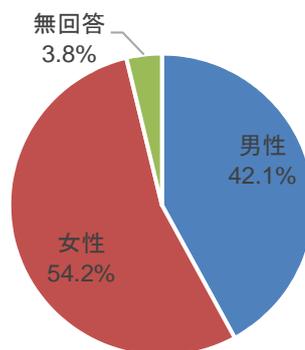
68.6% (480人/700人) ※平成30年度の回収率 70.7% (495人/700人)

### 2 回答者の属性

市民アンケートの属性別の対象者数、回答者数及び回収率は次のとおりです。構成比<sup>1</sup>は、その区分の対象者(回答者)が全対象者(回答者)のうち何%を占めているかを表しています。回収率<sup>2</sup>は、その区分の対象者数のうち何%<sup>3</sup>が回答を寄せたかを表しています。

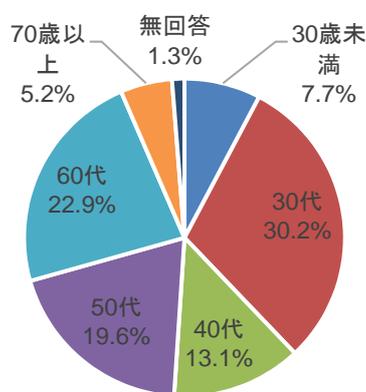
#### (1) 男女別

区分	対象者数		回答者数		回収率
	人数	構成比	人数	構成比	
男性	349	49.9%	202	42.1%	57.9%
女性	351	50.1%	260	54.2%	74.1%
無回答	-	-	18	3.8%	-
計	700	100%	480	100%	68.6%



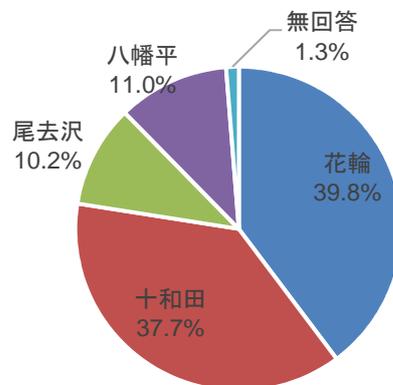
#### (2) 年代別

区分	対象者数		回答者数		回収率
	人数	構成比	人数	構成比	
29歳以下	94	13.4%	37	7.7%	39.7%
30代	212	30.3%	145	30.2%	68.4%
40代	98	14.0%	63	13.1%	64.3%
50代	130	18.6%	94	19.6%	72.3%
60代	134	19.1%	110	22.9%	82.1%
70歳以上	32	4.6%	25	5.2%	78.1%
無回答	-	-	6	1.3%	-
計	700	100%	480	100%	68.6%



#### (3) 地区別

区分	対象者数		回答者数		回収率
	人数	構成比	人数	構成比	
花輪	319	45.6%	191	39.8%	59.9%
十和田	249	35.6%	181	37.7%	72.7%
尾去沢	60	8.6%	49	10.2%	81.7%
八幡平	72	10.3%	53	11.0%	73.6%
無回答	-	-	6	1.3%	-
計	700	100%	480	100%	68.6%



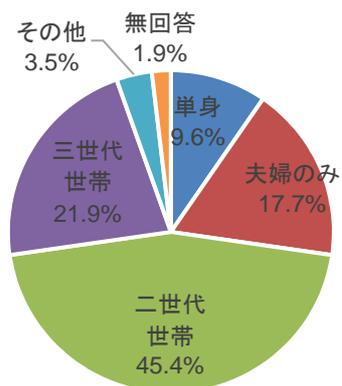
1 構成比 = その区分に属する対象者数(回答者数) ÷ 全対象者数(全回答者数)

2 回収率 = その区分に属する回答者数 ÷ その区分に属する対象者数

3 各設問における項目選択の割合(%)は、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

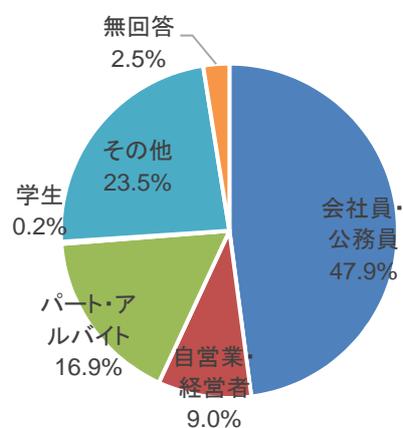
#### (4) 世帯構成別

区分	回答者数	
	人数	構成比
単身（一人暮らし）	46	9.6%
夫婦のみ	85	17.7%
二世帯世帯（親と子）	218	45.4%
三世帯世帯（親と子と孫）	105	21.9%
その他	17	3.5%
無回答	9	1.9%
計	480	100%



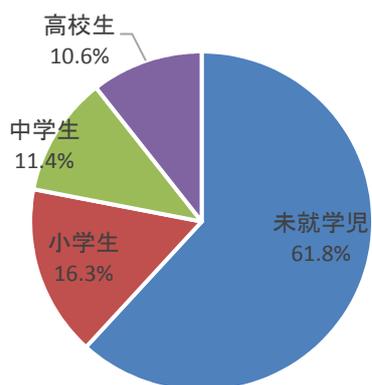
#### (5) 主な職業別

区分	回答者数	
	人数	構成比
会社員・公務員	230	47.9%
自営業・経営者	43	9.0%
パート・アルバイト	81	16.9%
学生	1	0.2%
その他	113	23.5%
無回答	12	2.5%
計	480	100%



#### (6) 子どもの成長段階別

区分	回答者数	
	人数	構成比
未就学児	76	61.8%
小学生	20	16.3%
中学生	14	11.4%
高校生	13	10.6%
計	123	100%



※子どもが複数いる場合は下の子の成長段階

### Ⅲ 調査の総括



### III 調査の総括

#### 1 子育て支援について

子育て支援の満足度	<b>45.0%</b>	▶詳細 P 14
-----------	--------------	----------

前年を 3.3 ポイント下回る結果となりました。ファミリー・サポート・センターの充実や子育ての経済的負担の軽減、さらには子育て世代包括支援センターの開設により、安心して出産・育児ができる環境づくりを進めていますが、分娩取扱機能が大館市へ集約されたことなどが満足度低下に影響していると推察します。

子育て支援策のニーズについては、児童手当支給年齢の引き上げや支給額の増額、保育料や教育費用の助成を望む声が多くありました。現在、多子世帯の保育料の無償化など、様々な子育て支援サービスを展開しているものの、更なる経済的支援が望まれています。

#### 2 公共交通について

数年間、公共交通を利用したことがない人の割合	<b>60.8%</b>	▶詳細 P 18
公共交通に不便を感じる市民の割合	<b>22.3%</b>	▶詳細 P 20

公共交通の利用者は微増していますが、日常の移動手段として自家用車を使用している方が9割以上いると考えられ、利用時間や行先に制限のない自家用車と比較して、制限の多い公共交通は不便と感じている人が多い状況が続いています。

不便と感じている人の意見として、「運行本数の増便や利用したい時間帯に走らせてほしい」という声が多いものの、利用者の減少とともに運行本数を縮小せざるを得なかった経緯から、増便は難しい状況にあります。

公共交通を必要とする人は各地域に分散しており、広範囲な需要をカバーするため、予約型デマンド運行や地域主体の乗合交通の取組を進めるなど、持続可能な公共交通の運行確保が必要と考えられます。

また、学校再編や交通需要に見合った路線の効率化により利便性の向上を図るとともに、交通弱者に対する支援制度の拡充や啓発活動により市民の関心を高め、地域に必要な公共交通を維持していく必要があります。

#### 3 地域情報化について

インターネットを利用している市民の割合	<b>77.9%</b>	▶詳細 P 22
---------------------	--------------	----------

インターネット人口普及率（インターネットを利用していると回答した割合）は77.9%で、前年（73.1%）を4.8ポイント上回る結果となりました。

要因としては、スマートフォンやタブレット端末の普及により、インターネット利用の容易性・利便性が向上し、50代から70代の利用割合の増加につながったことが挙げられ、幅広い年代でインターネット利用が浸透しています。

この結果を踏まえ、今後も引き続きインターネットをツールとした情報発信やサービスの拡充を図っていきます。

#### 4 中心市街地について

中心市街地の環境に満足している市民の割合	<b>52.9%</b>	▶詳細 P 25
----------------------	--------------	----------

中心市街地として位置付ける花輪市街地の環境に「満足」「やや満足」と回答した割合は、52.9%で前年（49.1%）を3.8ポイント上回る結果となりました。30代が前年（47.4%）から7.1ポイント増加の54.5%、50代が前年（41.4%）から7.6ポイント増加の49.0%に改善した一方で、30歳未満では前年（71.7%）から23.1ポイント減少の48.6%となっています。

不満要素として挙げられた「まちなか」の魅力や快適性・利便性、交通アクセスの向上についての改善策を検討し、事業者、関係団体等と連携しながら、中心市街地の満足度向上を図ります。

#### 5 男女共同参画の状況について

男女の地位が平等になったと感じている人の割合	<b>27.3%</b>	▶詳細 P 27
------------------------	--------------	----------

男女の地位が平等であると感じている市民の割合は27.3%で、基準値である19.0%より8.3ポイントの増加、前年（25.9%）より1.4ポイントの増加となりました。

しかし、「男性が優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」と回答した方の割合は62.8%で、前年（63.0%）より0.2ポイントの減少に転じたものの、依然として高い状況が続いています。

また、「平等である」と回答した男女の割合を比較すると、男性が前年度より8.5ポイント増加している一方、女性は3.9ポイント減少しており、男女間の意識に格差が生じていることがうかがえます。

今回の結果を踏まえ、男女共同参画について考えるきっかけをつくり、「男性は仕事、女性は家庭」という固定的な観念を解消しながら、性別に関わりなく個性や能力を十分に発揮できるよう啓発に努めます。

## 6 芸術鑑賞について

1年間に芸術鑑賞に親しんだ割合	<b>41.0%</b>	▶詳細 P 29
-----------------	--------------	----------

芸術鑑賞を行った人は41.0%で昨年より6.1ポイント増加しています。また、鑑賞した人のうち、コモッセの文化ホールで鑑賞した人の割合は、67.5%で前年より11.2ポイント減少しています。

芸術鑑賞する機会が徐々に増えていることがうかがえることから、コモッセでも多くの質の高い芸術と楽しさを実感できるような鑑賞機会の提供に努めます。

## 7 コモッセの利用状況について

1年間にコモッセを利用した割合	<b>61.1%</b>	▶詳細 P 32
-----------------	--------------	----------

コモッセを利用した人は61.1%で、前年より5.8ポイント増加しました。

年代別では30代の71.7%に対し、30歳未満では43.2%と低くなっていることから、複合施設の利点を生かした多様な利用方法について情報を発信し、年代を問わず、多くの市民が学習文化を通じて交流できるような施設運営に努めます。

## 8 運動の実施状況について

週1回以上の頻度で運動する市民の割合	<b>50.3%</b>	▶詳細 P 34
--------------------	--------------	----------

日常的なスポーツ活動を促すためのきっかけづくりとして、健康づくりと密接な関係にある生活活動動作に対する意識を醸成するため、市民総参加型のチャレンジデーやスポーツイベントを通して啓発に努めてきましたが、実施率は50.3%と前年(50.9%)を0.6ポイント下回る結果となりました。

平成25年度から実施率が50%を超えていますが、年代別にみると70歳以上で実施率が伸びている一方、仕事が生活の中心となっている30代から50代の働き盛り世代の実施率が低く、依然として50%を割っている状況にあります。

近年、市民の健康に対する意識は上昇傾向にありますが、スポーツによる健康づくりが進んでいるとは言えない状況にあるため、今後も、市民総参加型のチャレンジデーなどを通して、運動やスポーツ活動に対する意識の醸成を推進します。

## 9 地域コミュニティについて

社会活動・地域活動の参加割合	54.8%	▶詳細 P 36
----------------	-------	----------

昨年1年間に社会活動や地域活動に参加した方の割合は54.8%で、前年より1.8ポイント下回りました。

年代別で見ると、30歳未満以外のすべての年代で前年より減少しており、いずれの世代も目標値の75%に到達していません。地域活動に参加しなかった理由は、仕事の都合や育児、介護のほか、活動の情報を知らなかったという意見が多く寄せられました。

地域コミュニティの活性化を図っていくためには、現在の活動の中心となっている世代はもちろんですが、若年層の参加も重要となり、すべての世代が活動に参加できるような支援が必要です。

## 10 住みごちについて

住みごちに満足している割合	43.1%	▶詳細 P 38
---------------	-------	----------

「住みよい」「まあ住みよい」と回答した方は43.1%であり、「あまり住みよくない」「住みにくい」と回答した方の19.8%を大きく上回っているものの、前年(51.1%)から8.0ポイント減少し、基準値を下回る結果となりました。

今年度は、住みごちの判断材料となりうる要素を提示し、あてはまる理由を選択する設問を追加したことから、より具体的な視点からの回答が得られたと考えられます。住みよい理由では、「自然の豊かさや気候」「治安や災害への不安の少なさ」が多く挙げられ、住みよくない理由としては、回答者のうち4割以上の方が「医療や福祉環境に満足していない」「買い物に便利ではない」という理由を選んでいます。

住みごちは、福祉や雇用、コミュニティなどを含む総合的な指標であり、定住意識の根幹となるものであるため、本市の持つ魅力を十分発揮したまちづくりと計画的な社会基盤の整備を進め、満足度の向上に努めます。

## 11 愛着について

鹿角に愛着を持っている割合	63.1%	▶詳細 P 42
---------------	-------	----------

鹿角市に愛着がある方の割合は63.1%で、前年(69.3%)を6.2ポイント下回りました。

年代別で見ると、70歳以上が88.0%で最も高く、昨年高かった50代や60代の数値を上回る結果となりました。

愛着を構成する要素となり得るものには、自然環境や生活環境、地域コミュニティなど、様々

なものが想定されますが、自分の住むまちに愛着があるということは、能動的な地域活動への参加や、地域を盛り上げようとする前向きな雰囲気醸成につながると考えられます。まちのあり方として改善が必要なところや、地域の魅力の発見につながるような情報を市民と共有することで、自分が住むまちへの興味関心を喚起させ、一人ひとりが、鹿角市に愛着を持てるような鹿角ブランドの取組を進めていきます。

## 12 将来のまちの姿について

▶詳細 P 44

- ・将来にわたって豊かに暮らすために、大切だと思うまちの姿

鹿角市の将来のあるべき姿として、大切だと思うまちの姿として最も支持されたものは、「職業選択が豊富で経済成長し続ける『地域産業が活発なまち』」でした。次いで「誰もが健康で暮らせ、福祉が充実した『健康と福祉のまち』」、「災害や犯罪の少ない『安全・安心のまち』」が選ばれています。

第1位の「地域産業が活発なまち」は回答者の59.1%、第2位の「健康と福祉のまち」は55.4%の方から選択されており、多くの市民から大切なまちの姿として支持されていることがうかがえます。

順位	大切だと思うまちの姿
第1位	職業選択が豊富で経済成長し続ける「地域産業が活発なまち」
第2位	誰もが健康に暮らせ、福祉が充実した「健康と福祉のまち」
第3位	災害や犯罪の少ない「安心・安全のまち」
第4位	子育てや教育環境が充実した「子育てと教育のまち」
第5位	娯楽や買い物施設が多く、余暇活動が充実した「商業・レジャーのまち」

## 13 市の政策について

▶詳細 P 46

- ・市が進めている取組の中で、効果が得られていると感じるもの
- ・市が進めている取組の中で、もっと「ちから」を入れて欲しいと感じるもの

効果が得られていると感じるものとして、最も高い評価を得た施策は「観光の振興」でした。観光分野の施策の展開により、観光客数や宿泊客数の増加などの効果が表れており、大幅に順位を上げました。

2番目には、これまで最も高い評価を得ていた「子育て支援の充実」が選ばれました。保育サービス充実への注力により、子育て世代を中心に高い満足度が得られていますが、出産や小児科医等の課題解決を望む声が多く、子育て支援と医療体制を合わせた取組が必要です。

3番目以下の施策もほとんど例年と同様ですが、「鹿角ライフの促進」が上位に定着しており、移住施策の効果が着実に表れていると考えられます。

一方、もっと「ちから」を入れて欲しいと感じる施策については、昨年度と同様に「地域医療体制の充実」が1番となり、産婦人科医と小児科医の確保に関する意見を中心に、医療体制の強化を望む声が多くありました。

2番目に多く選ばれているのは「商店街の活性化」で、選択者は過去3年間の中で最も高く、商店街機能がまちづくりの上で重要な位置付けを有するととらえられます。

3番目は「雇用の安定」で、働く場の確保や賃金向上、職場環境の改善が若年層の市外・県外流出防止につながるのではないかとという意見が多く見られました。

また、昨年は13番目であった「公共交通の確保」が急上昇しており、高齢者の移動手段として公共交通の確保が必要であるという意見が、二世帯同居、三世帯同居の幅広い年代から多く寄せられました。当事者のみならず、家族からも対策が望まれていることが考えられます。

効果が得られていると感じるものについては継続していくとともに、もっと力を入れて欲しいと感じるものについては、改善に向け、今後も引き続き重点的かつ戦略的に取り組んでいきます。

#### ■ 効果が得られていると感じるもの

順位	H28年度	H29年度	H30年度
第1位	子育て支援の充実	子育て支援の充実	観光の振興
第2位	高齢者福祉の充実	健康づくりの推進	子育て支援の充実
第3位	健康づくりの推進	高齢者福祉の充実	健康づくりの推進
第4位	観光の振興	鹿角ライフの促進	高齢者福祉の充実
第5位	スポーツの推進	スポーツの推進	鹿角ライフの促進

#### ■ もっと力を入れて欲しいと感じるもの

順位	H28年度	H29年度	H30年度
第1位	雇用の安定	地域医療体制の充実	地域医療体制の充実
第2位	地域医療体制の充実	雇用の安定	商店街の活性化
第3位	商店街の活性化	商店街の活性化	雇用の安定
第4位	学校教育の充実	学校教育の充実	学校教育の充実
第5位	子育て支援の充実	観光の振興	地域産業の活性化 公共交通の確保



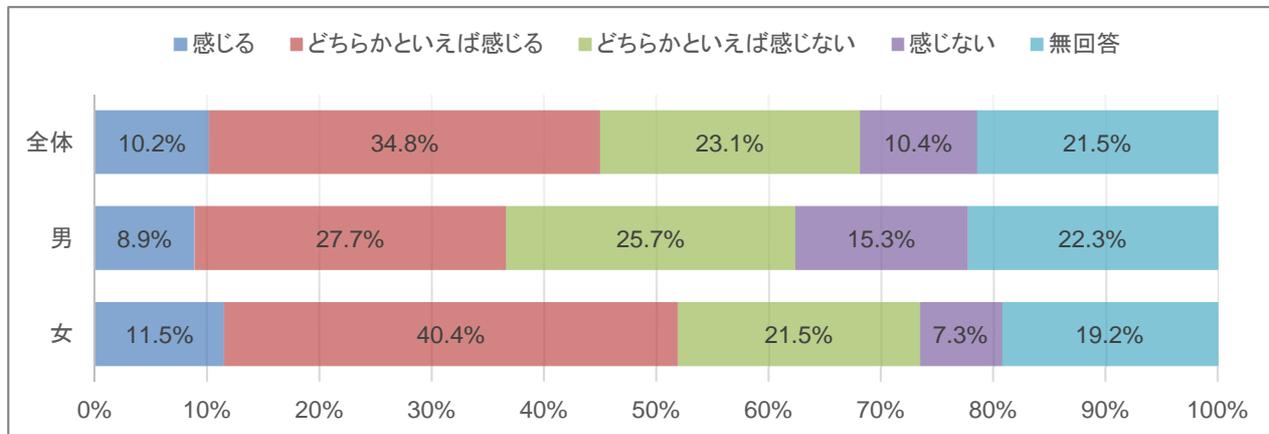
## IV 設問別集計結果



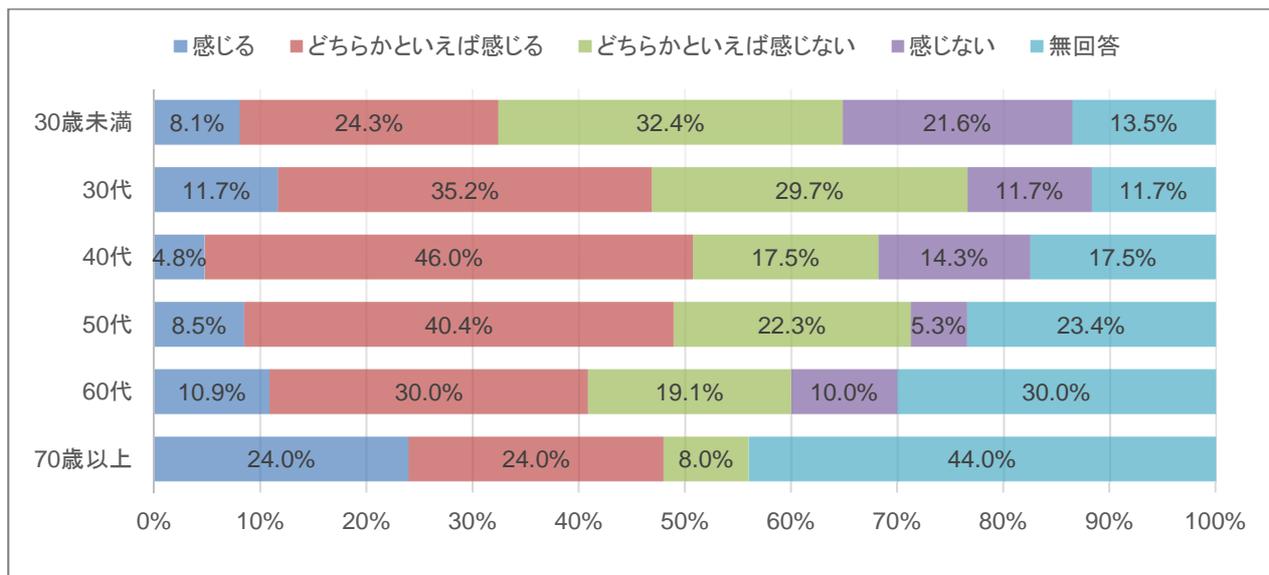
# 1 子育て支援について

設問 2 ① あなたは鹿角市が子育てしやすいまちだと感じますか。

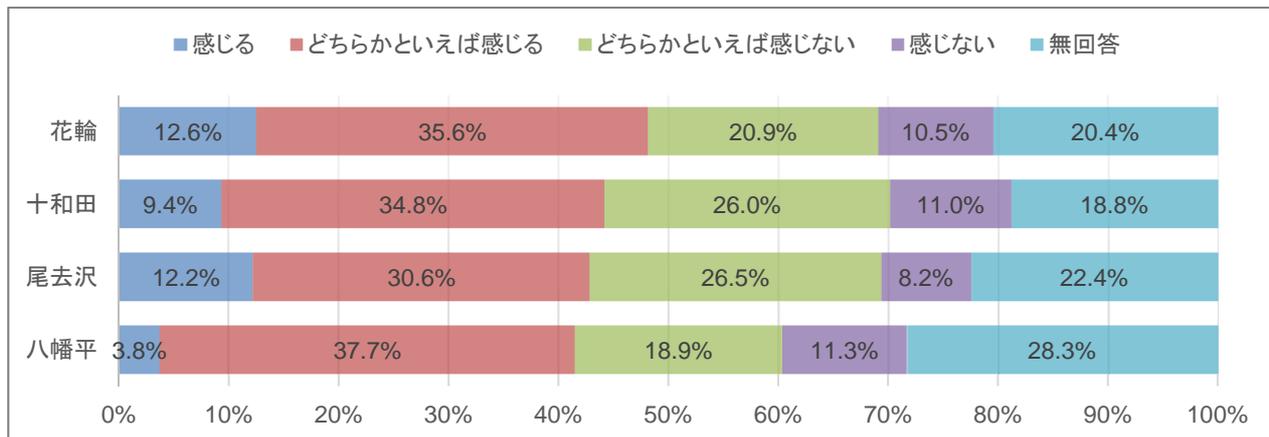
## ①全体／男女別



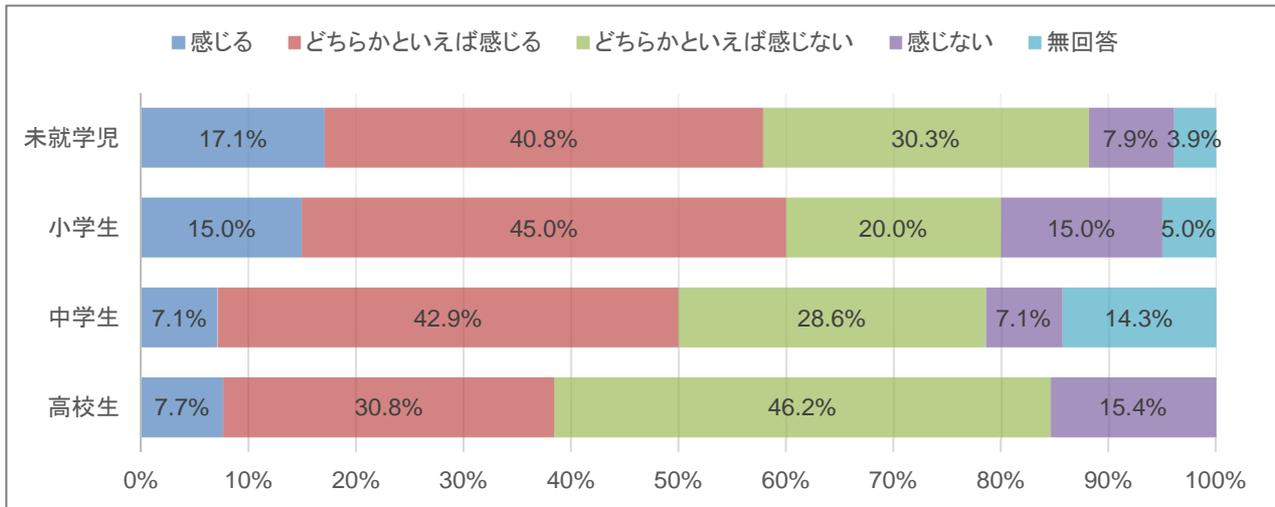
## ②年代別



## ③地区別



#### ④子育て区分別（N=123）



#### ⑤分析結果

「子育てしやすいまちだと感じる」、「どちらかといえば感じる」のプラス評価が 45.0%、マイナス評価となる「感じない」、「どちらかといえば感じない」が 33.5%で、プラス評価が 11.5 ポイント高い結果となりました。

男女別では、女性のプラス評価が 51.9%に対し、男性は 36.6%と女性より 15.3 ポイント低い結果となり、男女での子育てへの感じ方の違いが表れています。

また、年代別では、プラス評価が 30 歳未満の世代では 32.4%、30 代及び 50 代から 70 歳以上が 40%台となっており、40 代が最も高い 50.8%となっています。

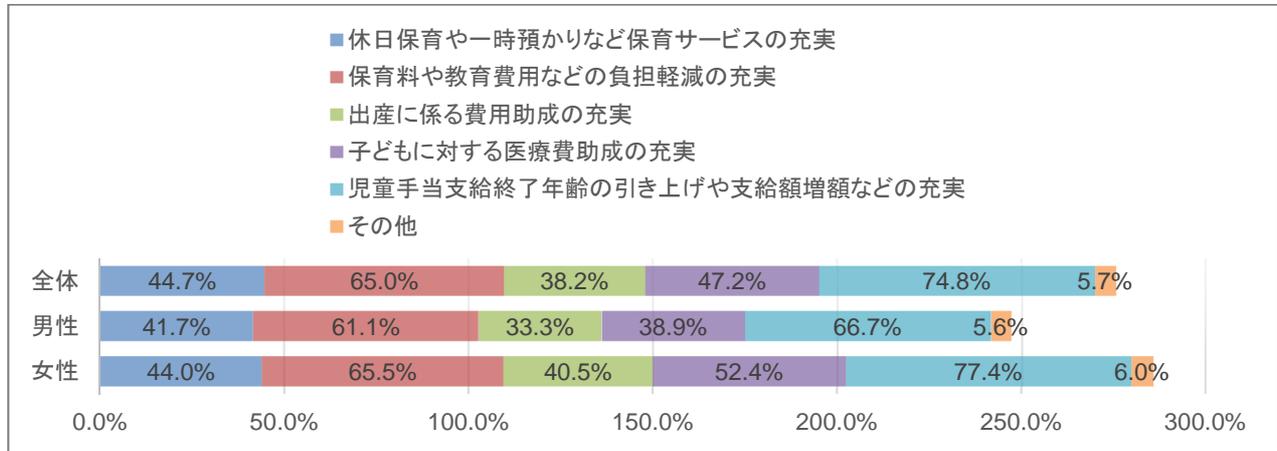
その他、子どもの就学別では、未就学児童から中学生までの保護者で、50%以上のプラス評価を得ていることから、子育て現役の方からの評価は一定程度あると推察されます。しかし、子どもの年齢が上がるに従って満足度の低下が見られることから、より詳細な分析によってニーズを調査していく必要があります。

〔参考〕第 6 次総合計画成果指標と実績値

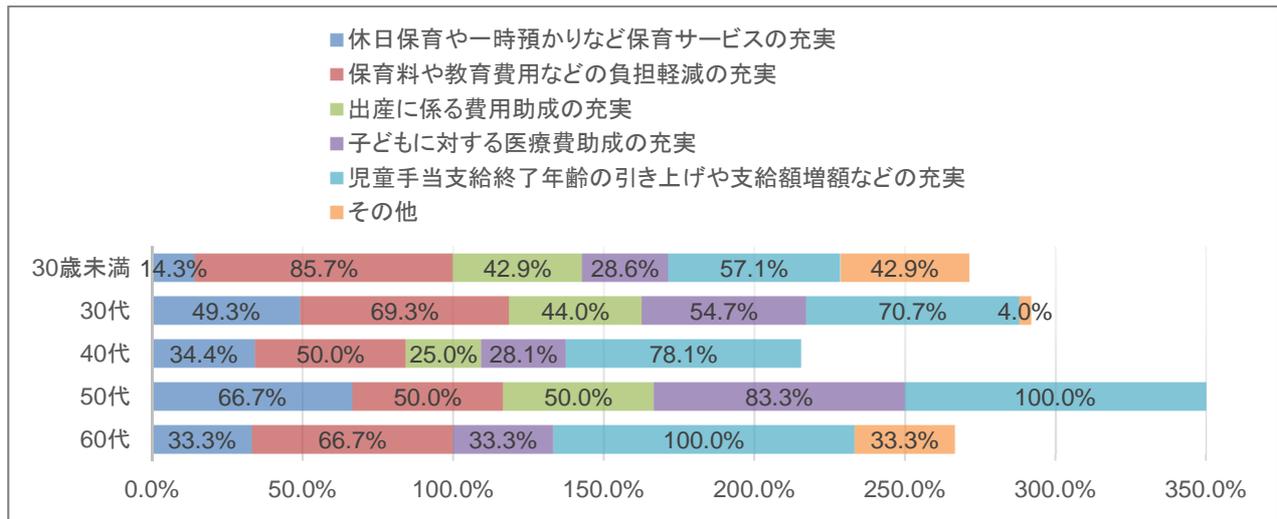
成果指標	基準値(H26)	実績値 (H30)	目標値 (R2)
子育てしやすいまちと感じる割合	<b>46.2%</b>	<b>45.0%</b>	<b>57.0%</b>

設問2② 現在、ご自分が子育てをされている方におたずねします。どのような子育て支援の充実が必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

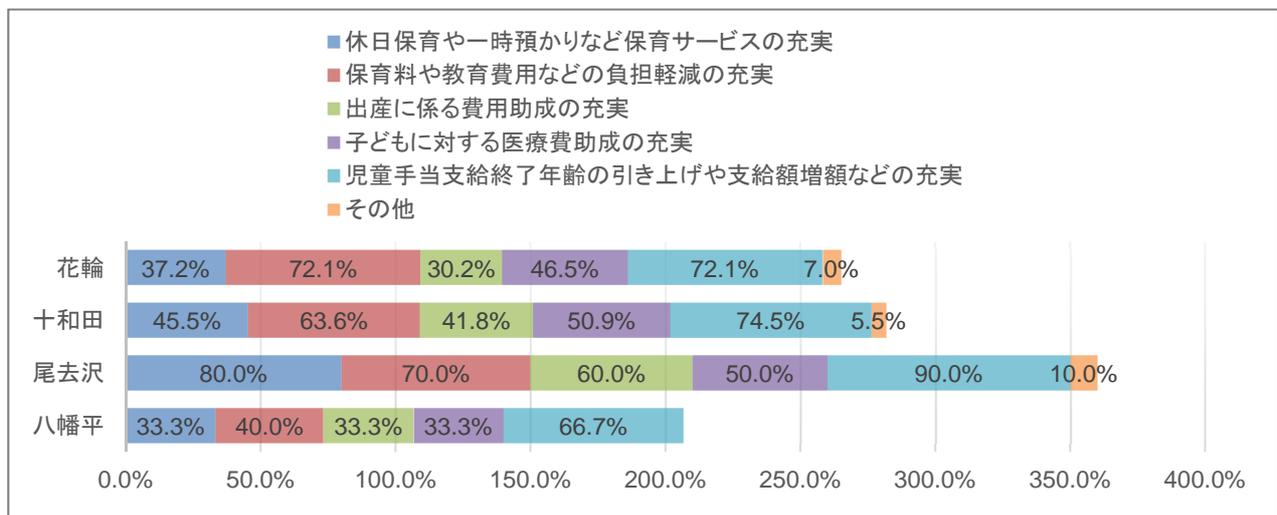
①全体／男女別（N=123）



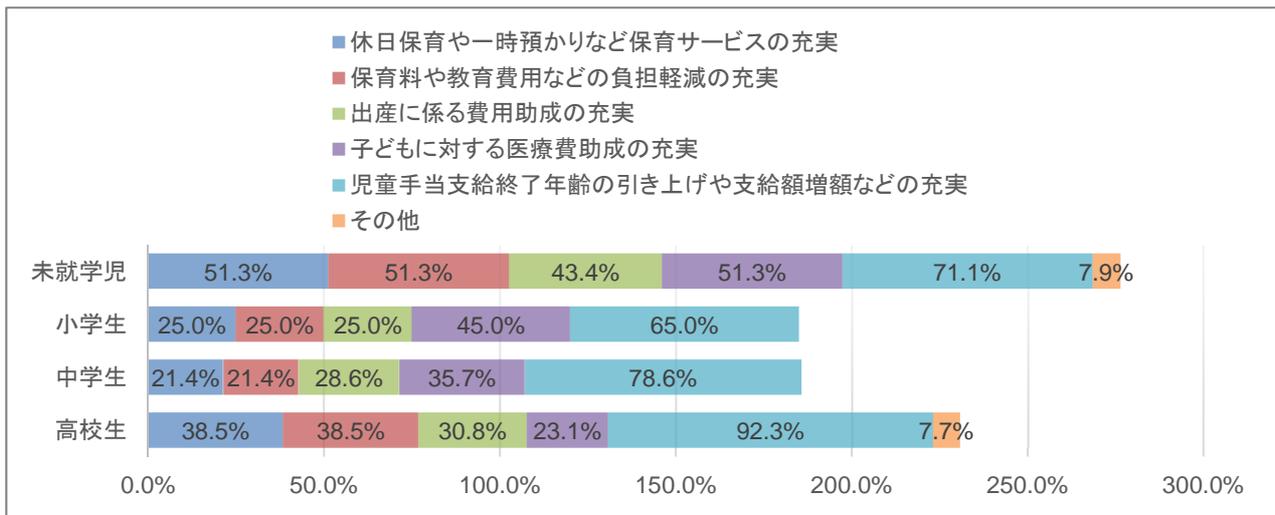
②年代別



③地区別



#### ④子育て区分別



#### ⑤分析結果

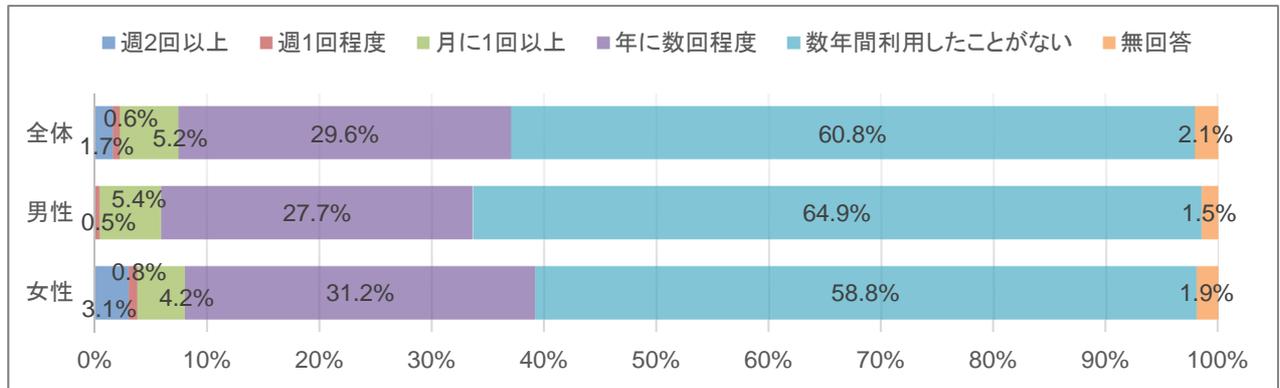
現在子育てをしている方へ「どのような子育て支援の充実が必要か」という設問に対し、回答項目として「保育サービスの充実」のほか、毎年回答率の高い「経済的支援」を大まかに区分けし、「保育料や教育費用の負担軽減」、「出産費用の助成」、「医療費助成」及び「児童手当支給年齢の引上げや支給額の増額」を用意したところ、「児童手当支給年齢の引上げや支給額の増額」が全体の 74.8%と最も高く、次いで「保育料や教育費用の助成」が 65.0%という結果となりました。また、その他の意見としては、「医療の充実（出産環境の充実も含む）」や「ひとり親家庭への支援」などがありました。

前問で、子育てのしやすさについてのプラス評価が低かった 30 歳未満では、「保育料や教育費用などの負担軽減の充実」が必要であるとした方が最も多い 85.7%となりました。現在、保育料の多子世帯への無償化など様々な子育て支援サービスを展開しているものの、更なる経済的支援が望まれています。

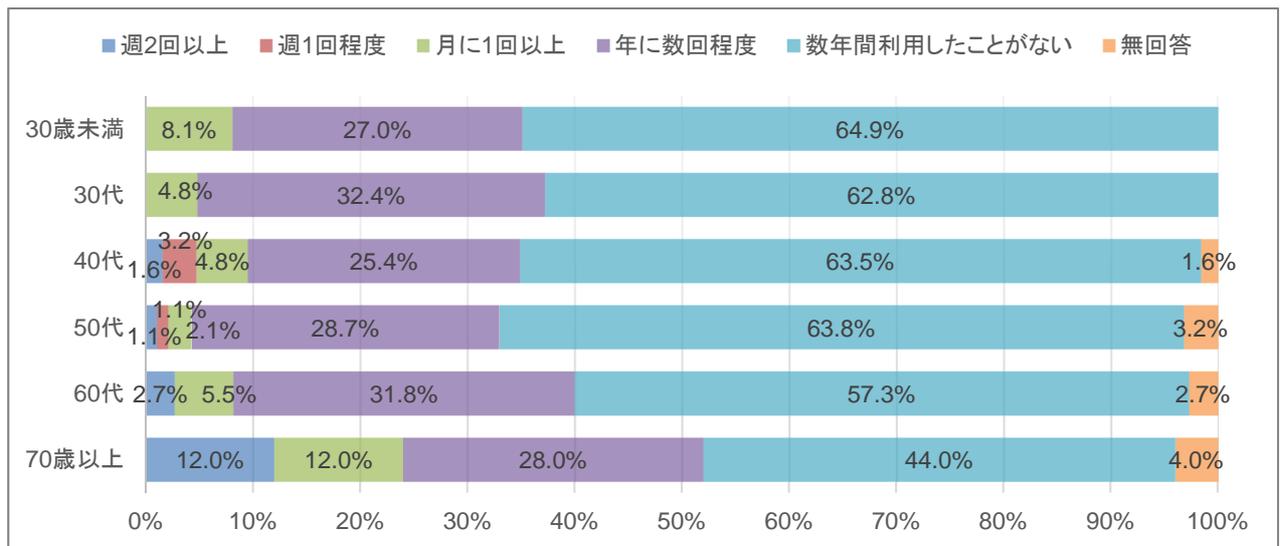
## 2 公共交通について

設問 3① バス（予約型乗合タクシー含む）または鉄道（以下、「公共交通機関」といいます。）の利用頻度として、当てはまるものを一つ選んでください。

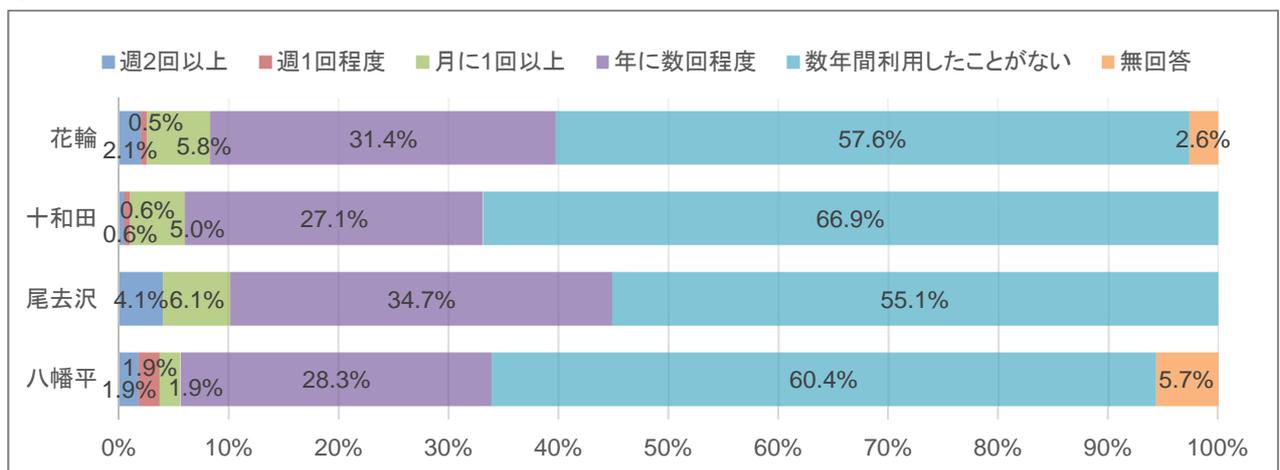
### ①全体／男女別



### ②年代別



### ③地区別



#### ④分析結果

公共交通機関を数年間利用したことがないと回答した方の割合は 60.8%となり前年（66.3%）から 5.5 ポイント減少しましたが、年に数回程度利用と回答した方と合わせると、依然として 9 割以上の方が自家用車を日常の移動手段としていると考えられます。

年代別では、年に数回程度利用と回答した方と利用したことがないと回答した方の割合は、どの年代でも差は見られない状況となっています。

月 1 回以上の利用者は 5.2%で前年（3.0%）を 2.2 ポイント上回りました。また、年に数回程度の利用者も前年（26.9%）より 2.7 ポイント上回る 29.6%となっています。

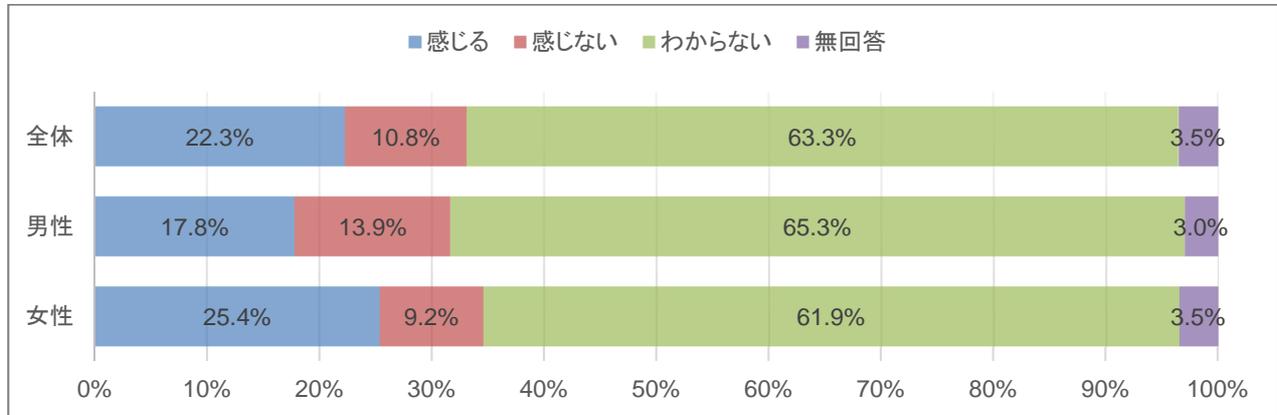
週 2 回以上の 70 歳以上の利用者は 12.0%で前年（2.9%）より 9.1 ポイント増加しており、年間延べ利用者数の伸びに繋がるものと捉えています。

〔参考〕第 6 次総合計画成果指標と実績値

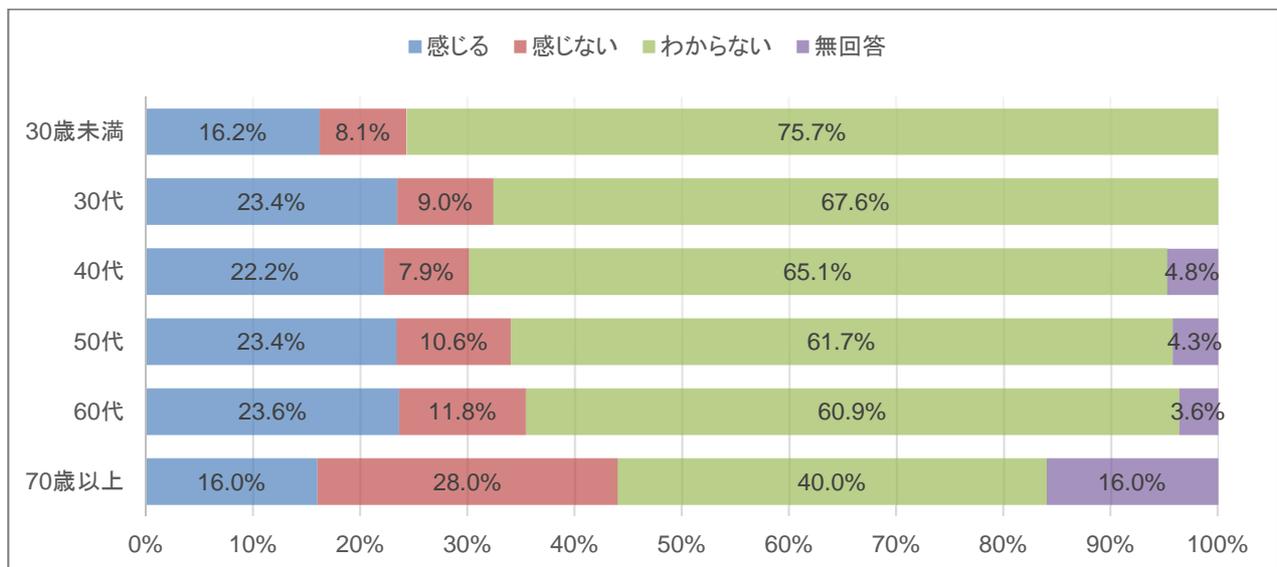
成果指標	基準値 (H26)	実績値 (H30)	目標値 (R2)
数年間公共交通を利用したことが無い人の割合	<b>58.8%</b>	<b>60.8%</b>	<b>50.0%</b>

設問 3② あなたは、普段の生活の中で、バスや鉄道などの公共交通機関による移動に不便を感じていますか。

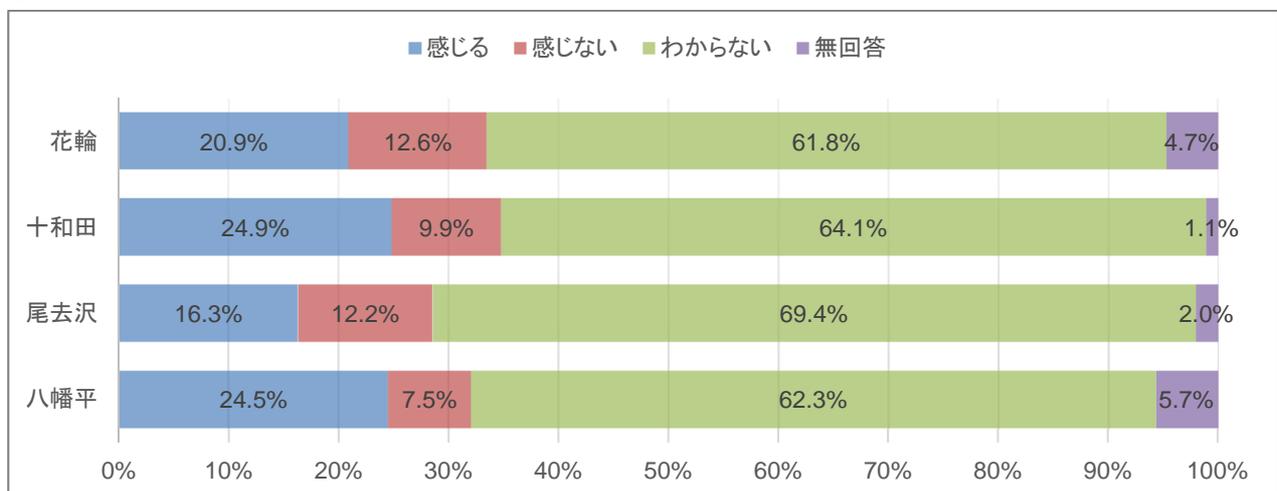
①全体／男女別（N=480）



②年代別



③地区別



#### ④分析結果

公共交通に不便を感じると回答した割合は 22.3%で前年（23.2%）から 0.9 ポイント改善しました。不便を感じる理由としてはバス、鉄道とも「本数が少ない」「土日、祝日の運行が無い」が圧倒的に多く、他に自宅からバス停までが遠いことや乗り換えの不便さが挙げられています。

年代別で見ると、70 歳以上の不便を感じない人の割合が前年（14.7%）より 13.3 ポイント上回る 28.0%となっており、自家用車による移動手段が確保できている方が増え公共交通を利用する機会がないためと考えられます。

また、公共交通が不便かどうか、「あまり利用しないので分からない」との回答が 63.3%と依然として高く、普段、利用しない方からはあまり関心が向けられていないことが伺えます。

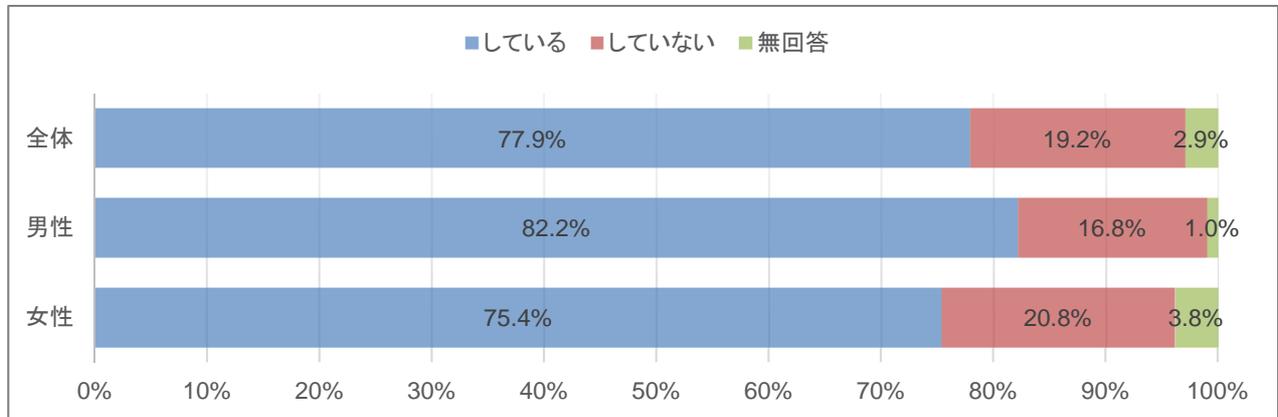
〔参考〕 地域公共交通網形成計画評価指標と実績値

評価指標	基準値(H27)	実績値 (H30)	目標値 (R2)
公共交通に不便を感じる市民の割合	<b>17.8%</b>	<b>22.3%</b>	<b>15.0%</b>

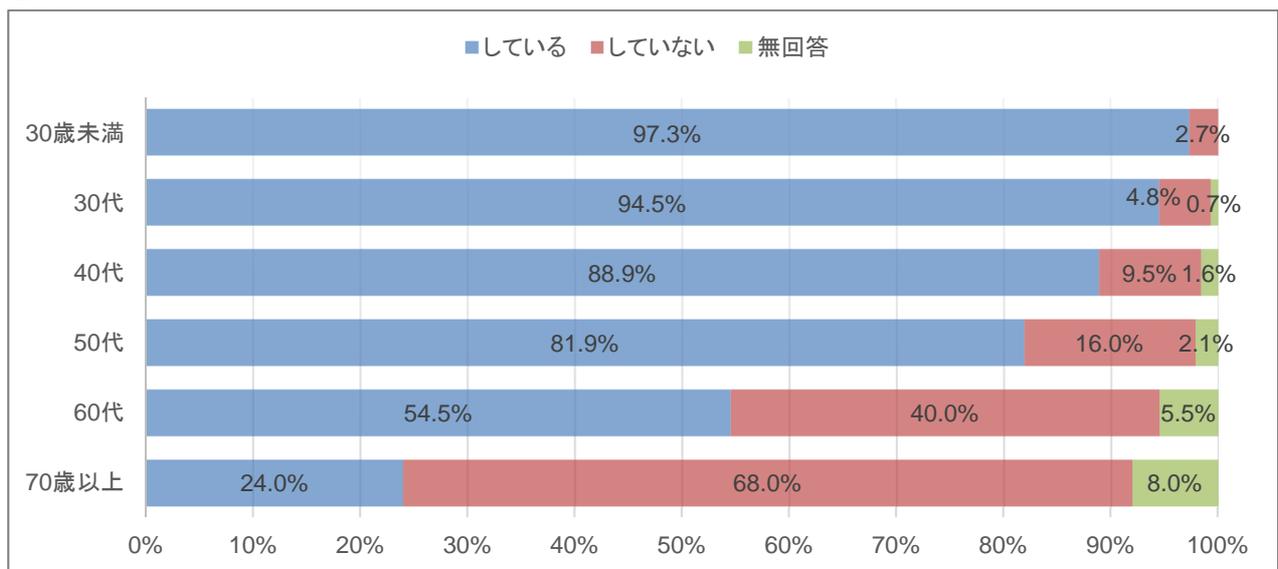
### 3 地域情報化について

設問4 あなたはインターネットを利用していますか。

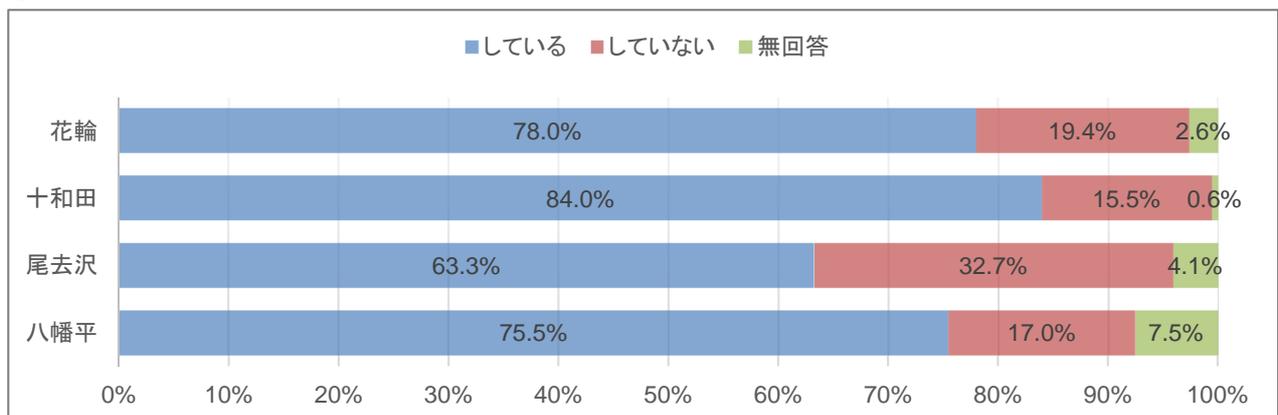
#### ①全体／男女別



#### ②年代別

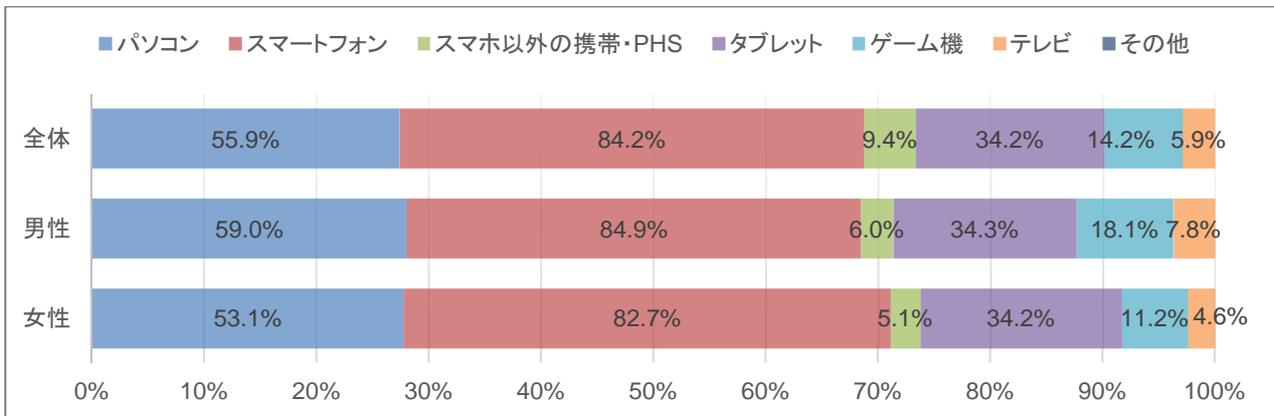


#### ③地区別

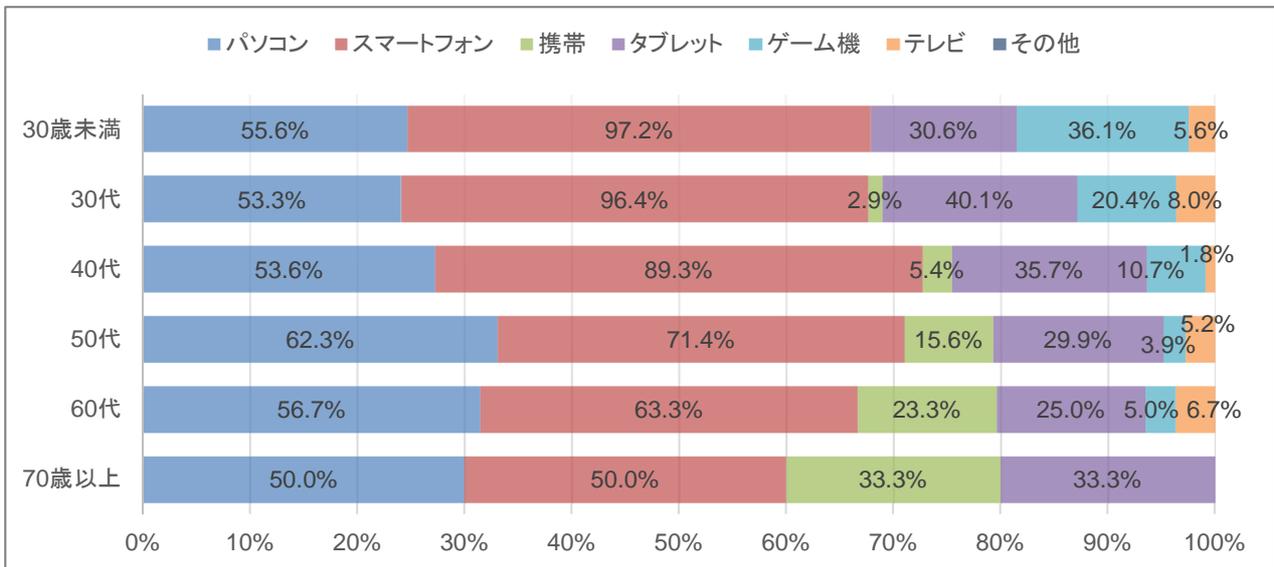


◆利用している場合の利用機器（すべて回答）

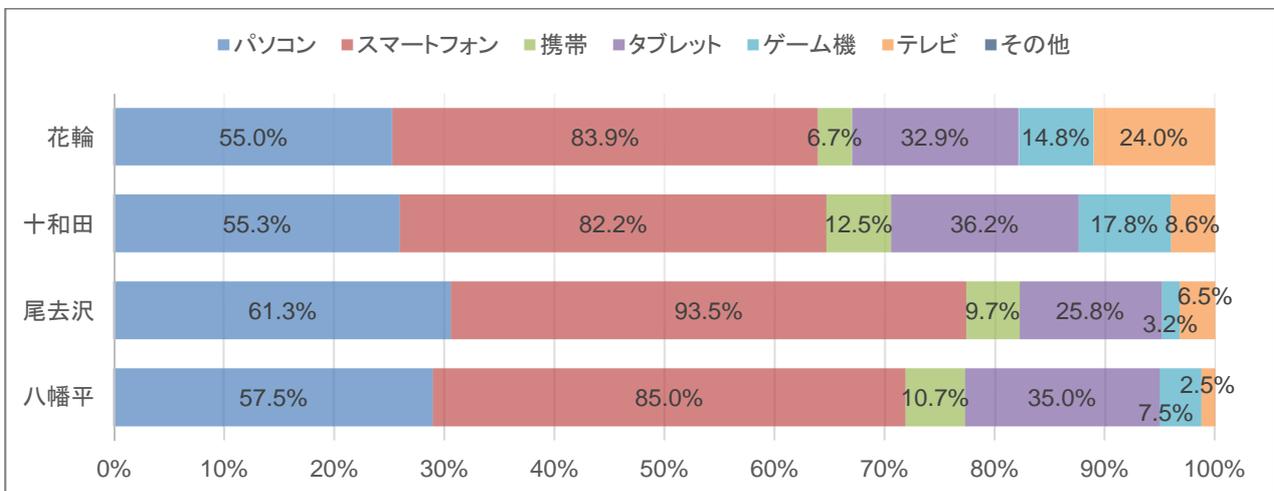
①全体／男女別（N=374）



②年代別



③地区別



#### ④分析結果

インターネットを利用していると回答した方は全体の 77.9%となり、一昨年の 58.0%、昨年の 73.1%と比較し、順調に利用者が増加していることが分かります。

年代別で見ると、30 歳未満で 97.3%、30 代で 94.5%。40 代で 88.9%と前年同様に高い割合を示したことに加え、50 代で 11.2 ポイント、60 代で 5.6 ポイント、70 代で 12.2 ポイント増加しており、年代間の差も縮小傾向にあります。

また、利用機器では、スマートフォンでの利用が最も多い結果となっているほか、前年と比較すると 70 代を除くすべての年代で、タブレット端末の利用が増加しており、これら持ち運びと操作が容易な機器の普及が、利用割合の増加に寄与していることが伺えます。

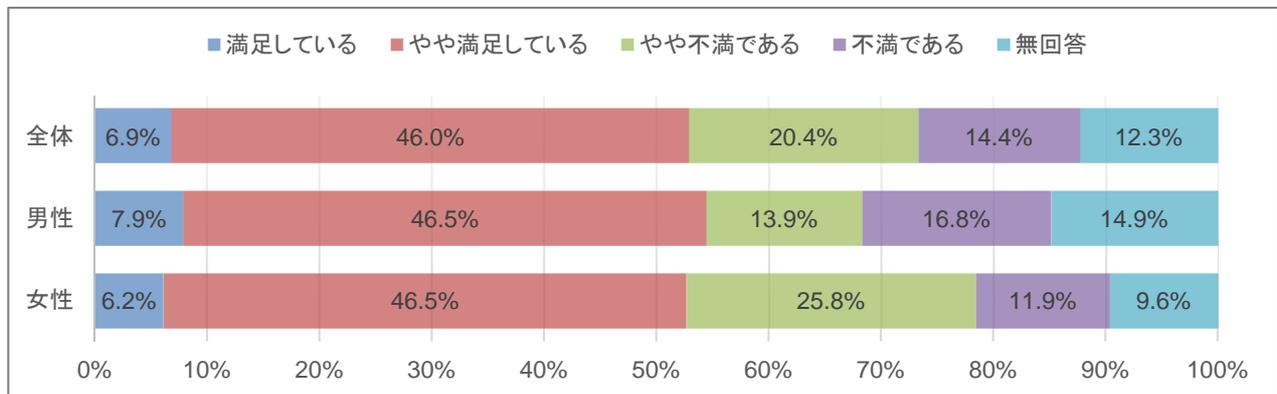
〔参考〕第 6 次総合計画成果指標と実績値

成果指標	基準値(H26)	実績値 (H30)	目標値 (R2)
インターネット人口普及率	<b>56.1%</b>	<b>77.9%</b>	<b>60.0%</b>

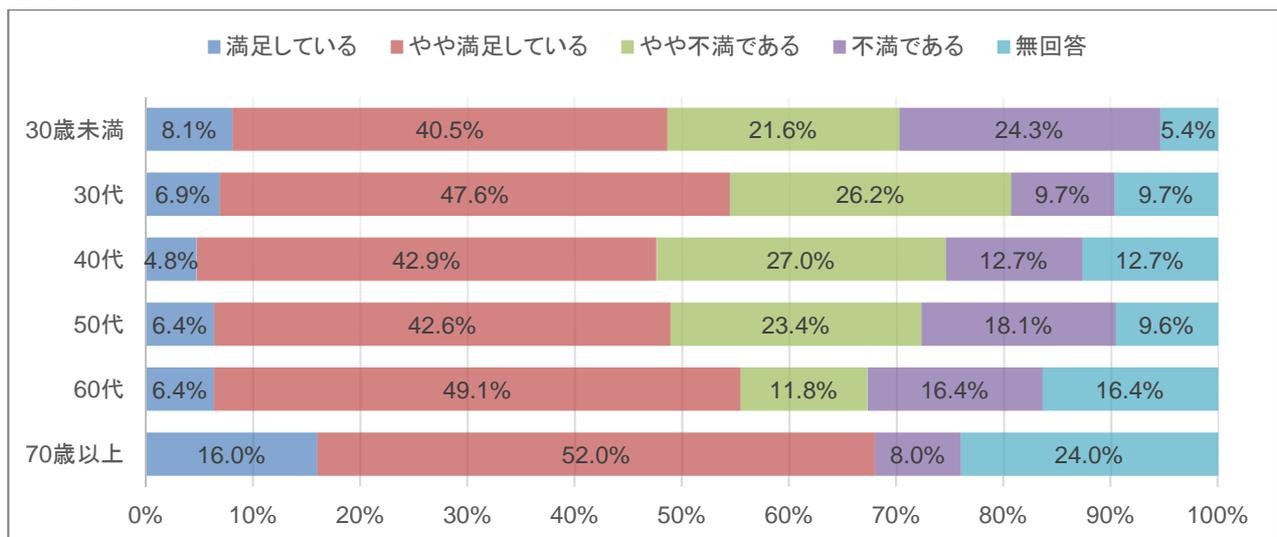
## 4 中心市街地について

**設問5** あなたは、花輪市街地の生活環境（住みごごちだけでなく、交通の便や公共施設の配置など中心地としてのまちの便利さ）に満足していますか。

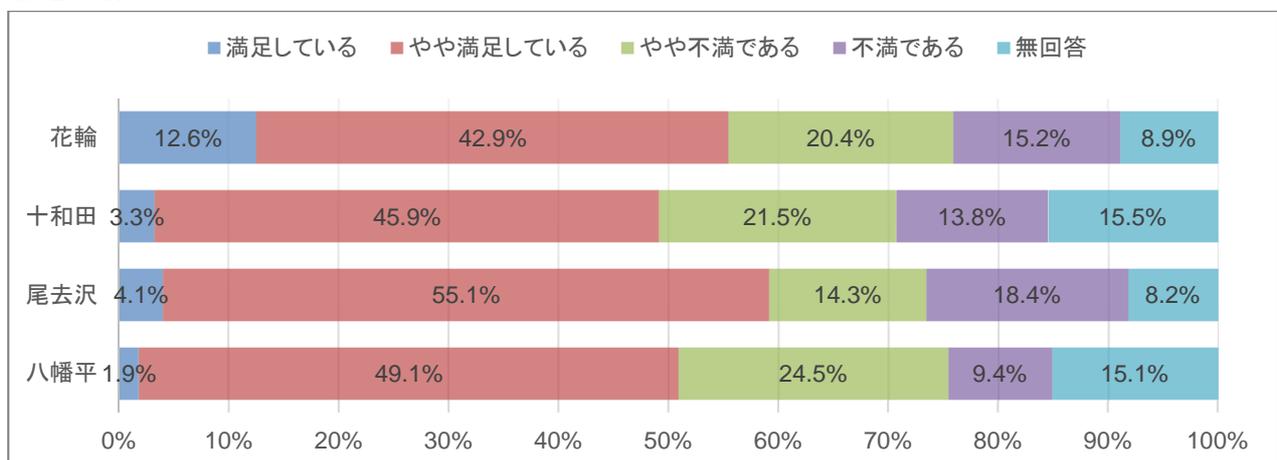
### ①全体／男女別



### ②年代別



### ③地区別



#### ④分析結果

花輪市街地の生活環境について、「満足」「やや満足」と回答した割合は 52.9%で前年(49.1%)より 3.8 ポイント改善しました。

年代別で「やや不満」「不満」と回答された方は、30 歳未満の 45.9%が最も高く、理由としては、娯楽や買い物施設の少なさが一番多く挙げられました。次いで、不満であると回答した方が多いのが、50 代の 41.5%、40 代の 39.7%でしたが、前年、最も高かった 30 代では 35.9%と、11.5 ポイント改善しています。

地区別では、「やや不満」「不満」と回答された割合が、すべての地区で前年より改善しており、特に尾去沢地区が 16.3 ポイント改善しています。

しかしながら、いずれの年代や地区においても、不満を感じる理由として「欲しいものを買いきろえることが難しい」、「利用しやすい駐車場が少ない」、「中心市街地への公共交通機関のアクセスが不便」といった例年同様の意見が多く見られます。

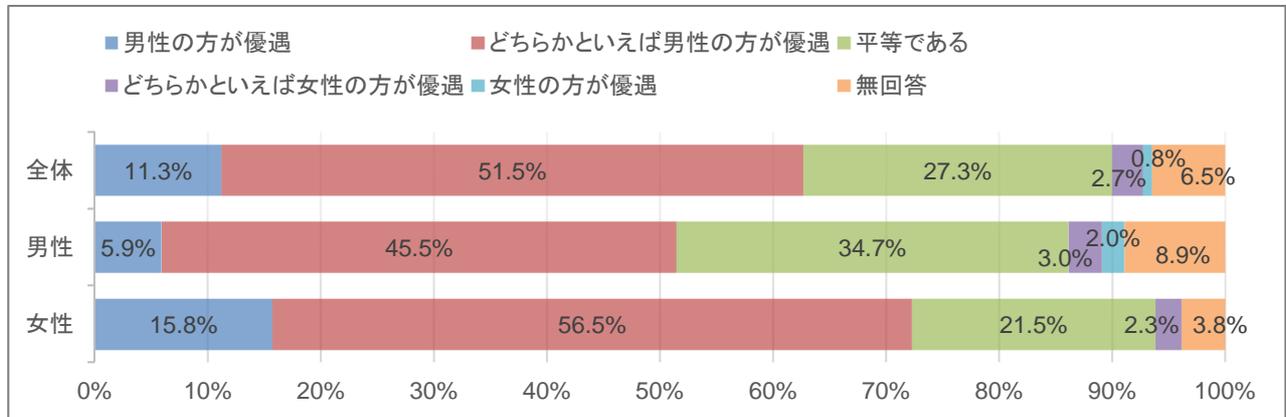
〔参考〕第 6 次総合計画成果指標と実績値

成果指標	基準値 (H24~H26 平均)	実績値 (H30)	目標値 (R2)
中心市街地の環境に満足している 市民の割合	<b>53.5%</b>	<b>52.9%</b>	<b>59.5%</b>

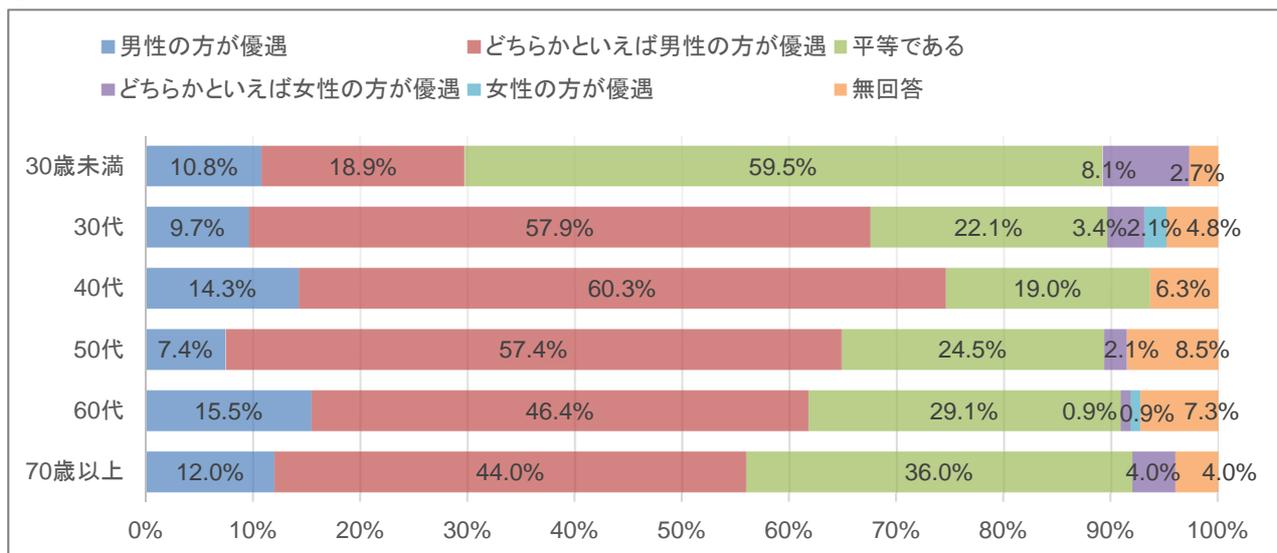
## 5 男女共同参画の状況について

設問6 あなたは、地域社会全体でみた場合、男女の地位は平等になっていると思いますか。

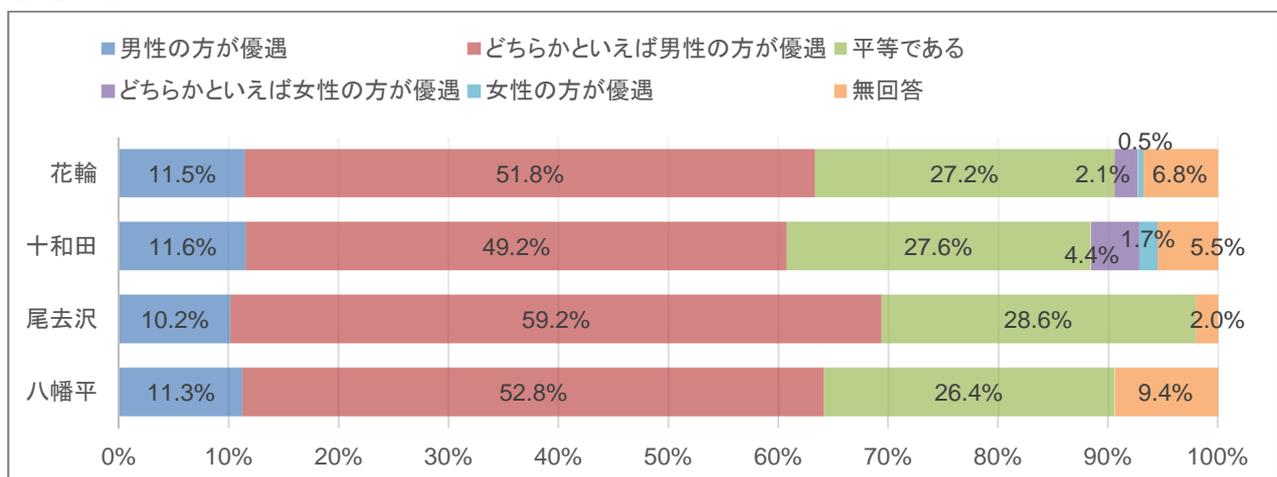
### ①全体／男女別



### ②年代別



### ③地区別



#### ④分析結果

男女の地位が「平等である」と回答した方の割合は27.3%であり、前年(25.9%)より1.4ポイント増加していますが、「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を選択した割合は62.8%となり、男女別にみても男性は51.4%、女性は72.3%と、依然として高い状況と考えられます。

また、「平等である」と回答した男女間の割合を比較すると、男性は34.7%(前年26.2%)で前年より8.5ポイント増加している一方、女性は21.5%(前年25.4%)と前年より3.9ポイント減少しており、意識差については、前年は0.8ポイントの差であったものが13.2ポイントに拡大しており、男女間の格差を感じている女性が増加していることがうかがえます。

年代別では、特に30歳未満の59.5%が平等と感じていることから、今後も男女共同参画を考えるきっかけづくりや、年齢や性別に関わりなく、個性や能力を十分発揮できるよう、様々な機会を通じて啓発活動に取り組んでいきます。

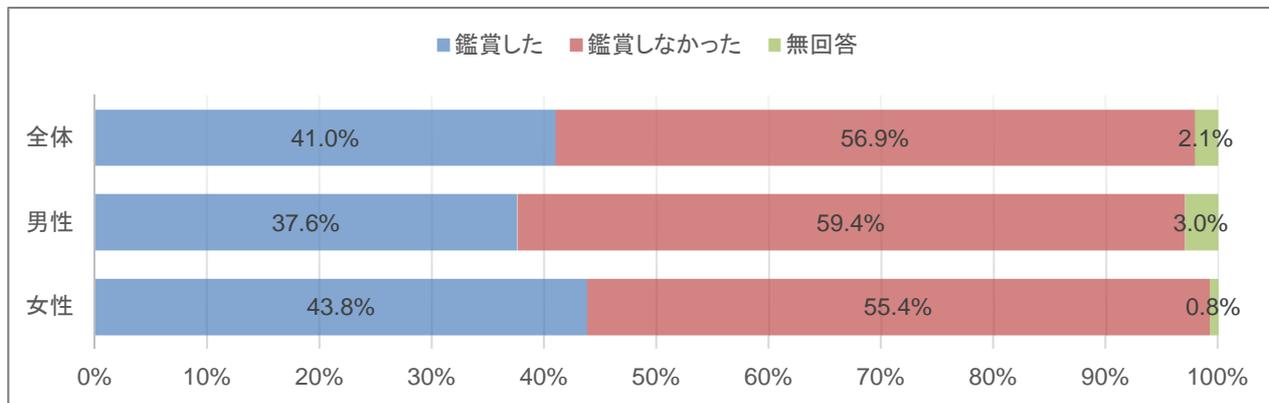
〔参考〕第3次男女共同参画計画 男女共同参画指標と実績値

男女共同参画指標	基準値 (H27)	実績値 (H30)	目標値 (R2)
男女の地位が平等になったと感じている人の割合	<b>19.0%</b>	<b>27.3%</b>	<b>25.0%</b>

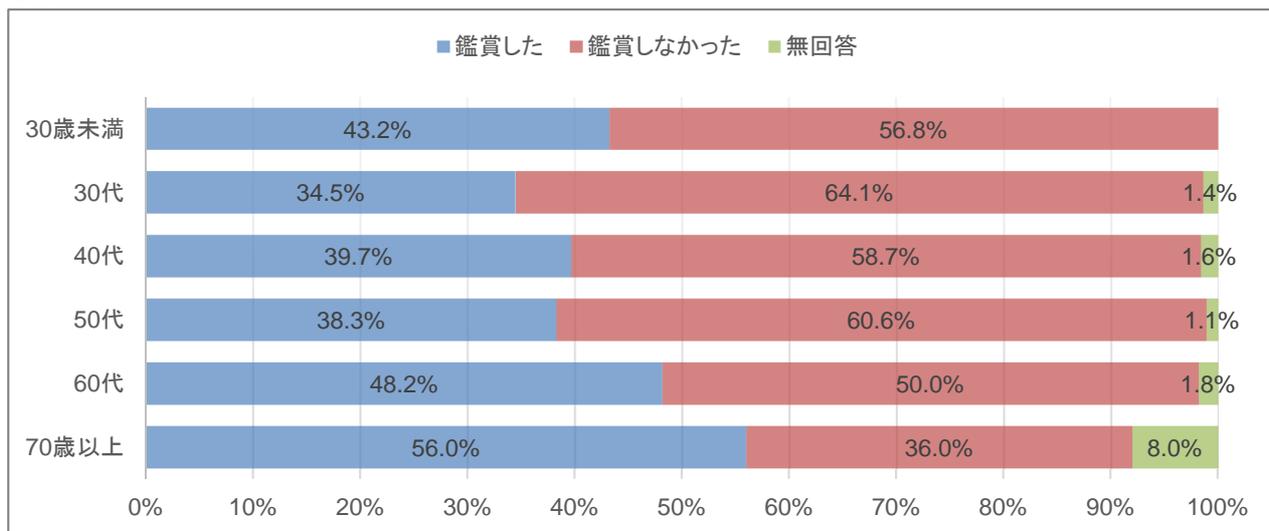
## 6 芸術鑑賞について

設問7 あなたは、昨年1年間に市内外で芸術鑑賞（音楽、演劇、美術館、展覧会等全般）をしましたか。

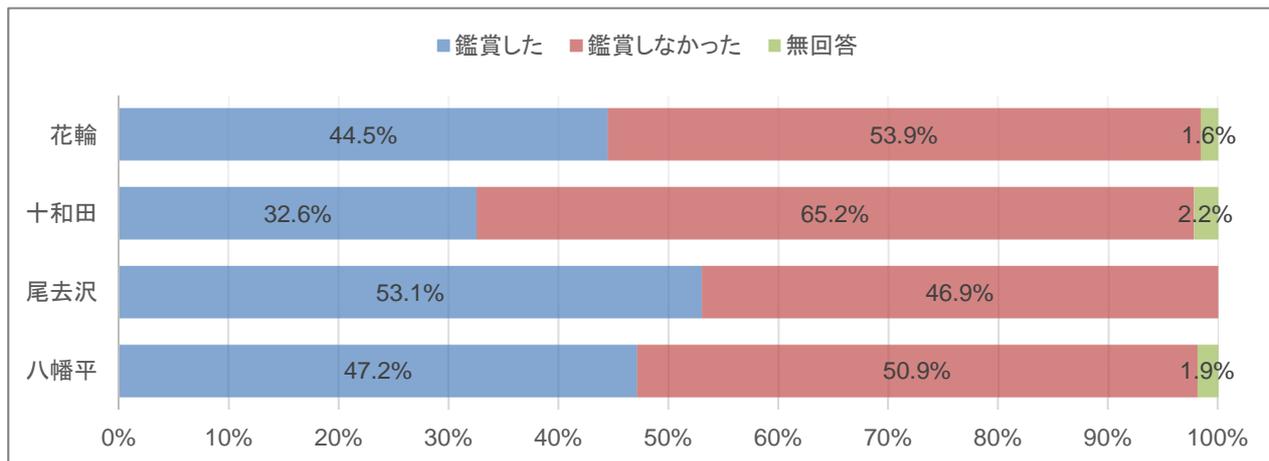
### ①全体／男女別



### ②年代別



### ③地区別



#### ④分析結果

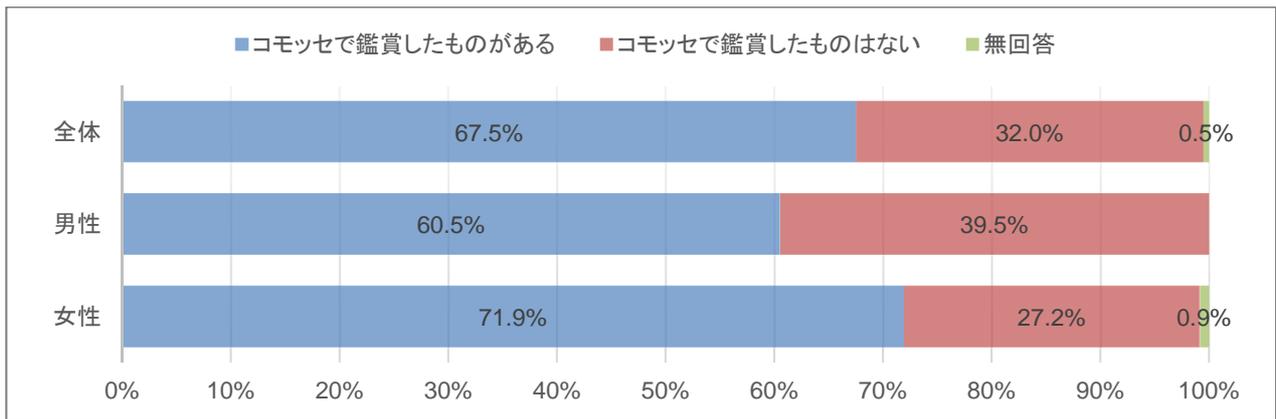
芸術鑑賞をした人は全体で41.0%となっています。男女別では女性の方が鑑賞している割合が高くなっていますが、前年と比較すると、女性、男性とも増加しましたが、特に男性は9.0ポイント増加しました。

年代別では、すべての年代で30%を超え、特に30歳未満、40代、70歳以上では、前年からそれぞれ10ポイント以上増加しています。

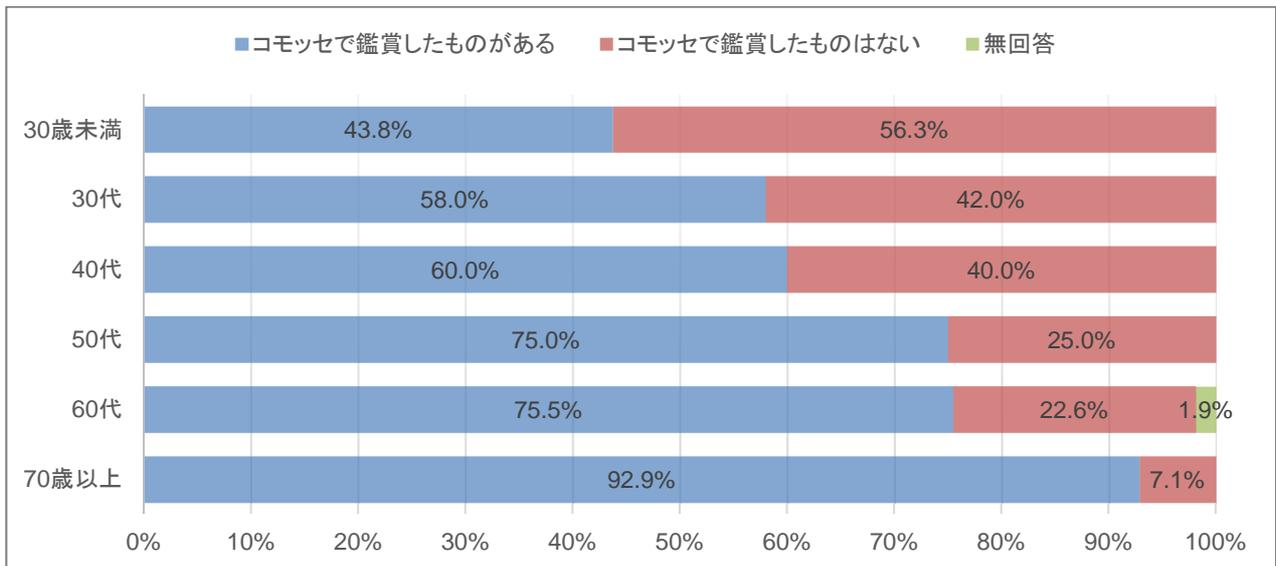
地区別では、花輪地区、尾去沢地区、八幡平地区が40%以上で、特に尾去沢地区は22.5ポイント、八幡平地区は18.6ポイントと大幅に増加し、十和田地区は32.2%で前年より0.9ポイントの微増となりました。すべての地区で増加していることから、市民の芸術鑑賞に対する関心が広がりとつあると考えられます。

#### ◆芸術鑑賞した人のうち、コモッセで鑑賞したものはあるか。

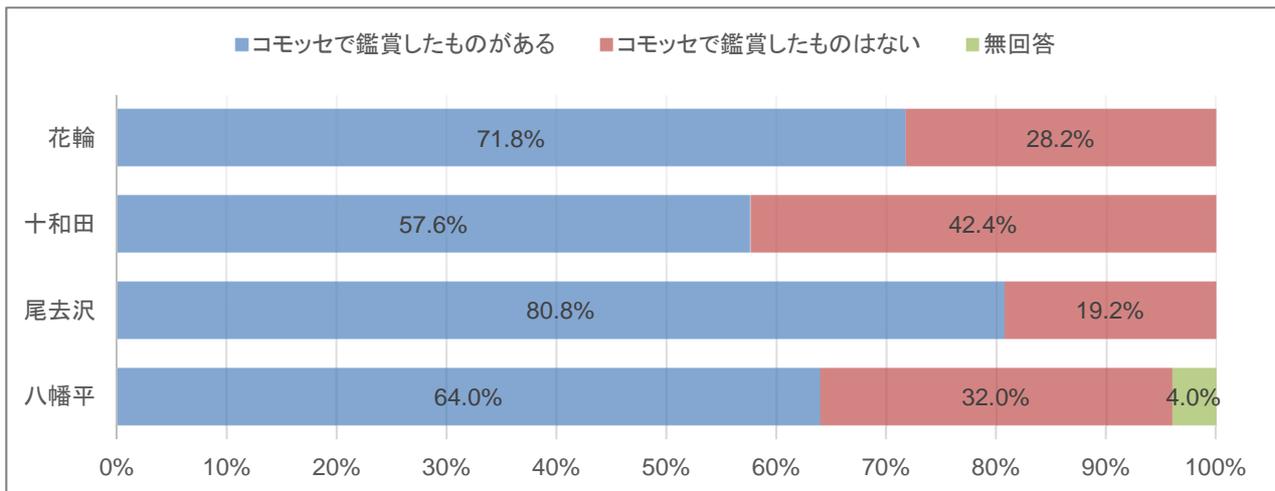
##### ①全体／男女別（N=197）



##### ②年代別



### ③地区別



### ④分析結果

芸術鑑賞した人のうちコモッセで鑑賞した人は 67.5%と、前年より 11.2 ポイント減少し、特に男性が 15.8 ポイント減少しています。

年代別では前年に比べ全年代で減少していますが、特に 40 代で 34.7 ポイント減少しました。これは、親子向けの公演が前年よりも少なかったためと考えられます。

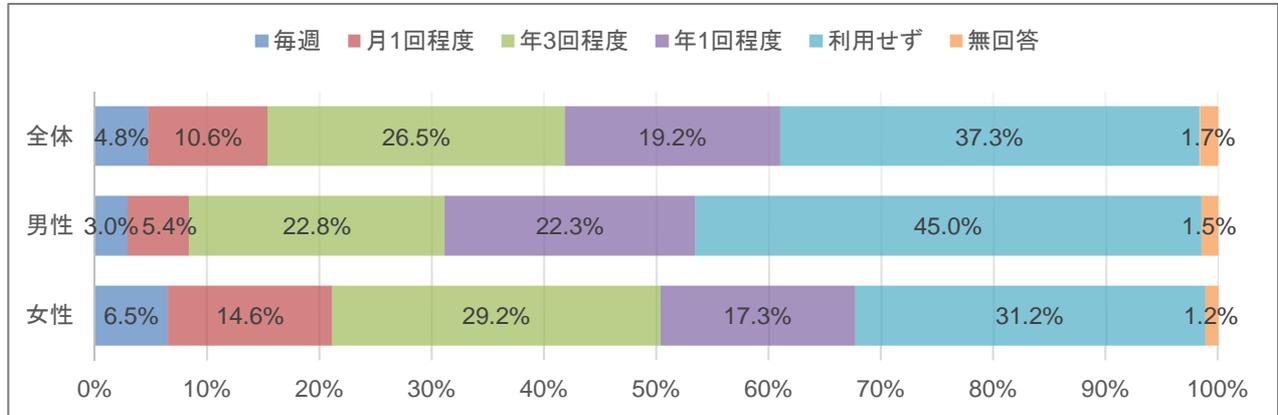
地区別では花輪地区、十和田地区、八幡平地区で減少しており、尾去沢地区は昨年より 7.5 ポイント増加していますが、全体的には設問 7 の地区別集計と同様の傾向が見られます。

今後は、コモッセにおいて市民のニーズに合わせた文化芸術を提供するとともに、文化ホールの有効活用に寄与する人材育成や市民参加型事業などの取組も強化する必要があります。

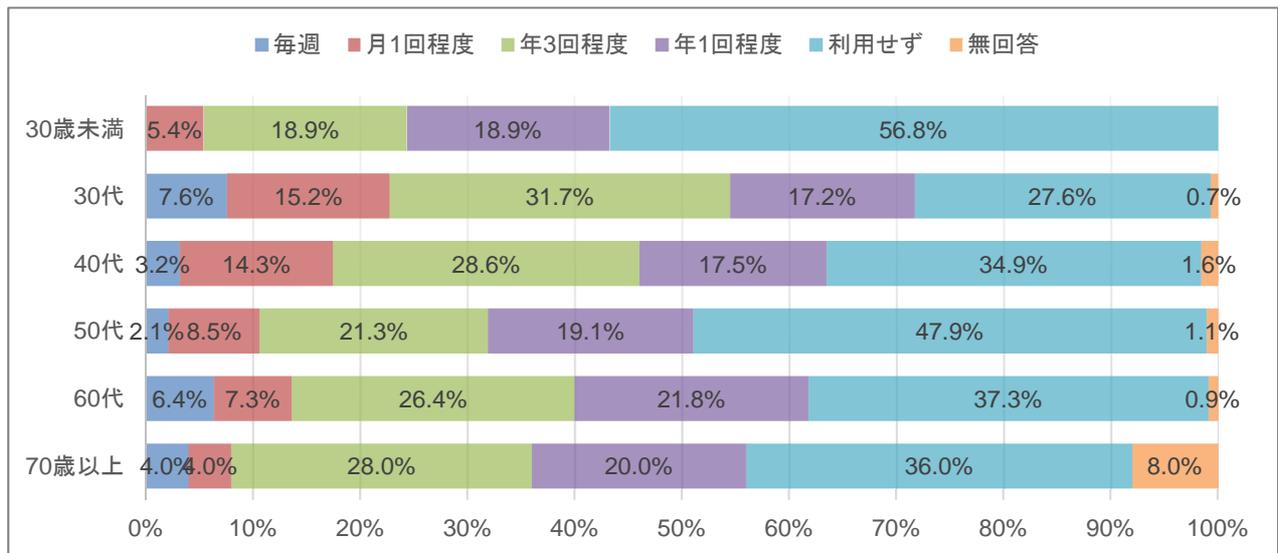
## 7 コモッセの利用状況について

設問8 あなたは昨年、コモッセをどの程度利用されましたか。

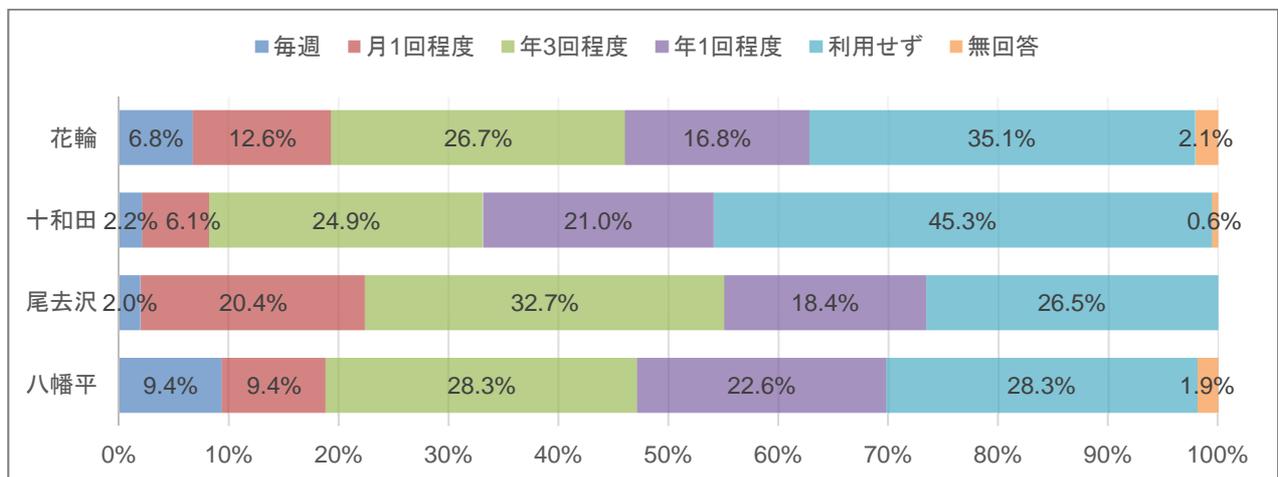
### ①全体／男女別



### ②年代別



### ③地区別



#### ④分析結果

コモッセを利用した人は61.1%で、昨年より5.8ポイント増加しました。利用回数は昨年度と同じく年3回程度が最も多くなっています。

男女別では女性が利用する割合が高く、年代別では30代で利用する割合が高くなっています。

地区別では尾去沢地区が73.5%と高く、十和田地区が54.1%と低くなっていますが半数以上がコモッセを利用していると回答しています。

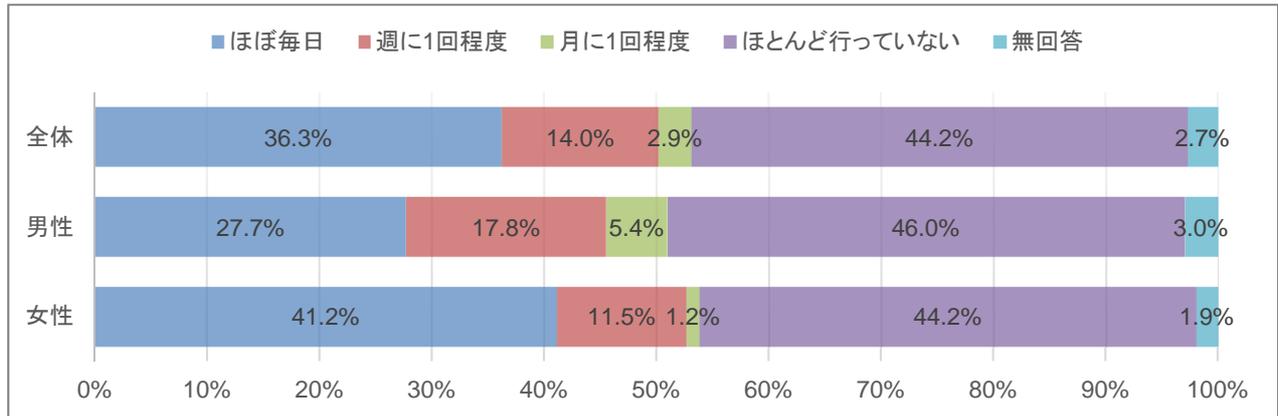
一方で、利用しなかった理由として、「利用する用事がない」「どんなイベントをやっているのかわからない」というものが多く、一度も利用したことがない人の興味・関心を引き出す取り組みが必要です。

## 8 運動の実施状況について

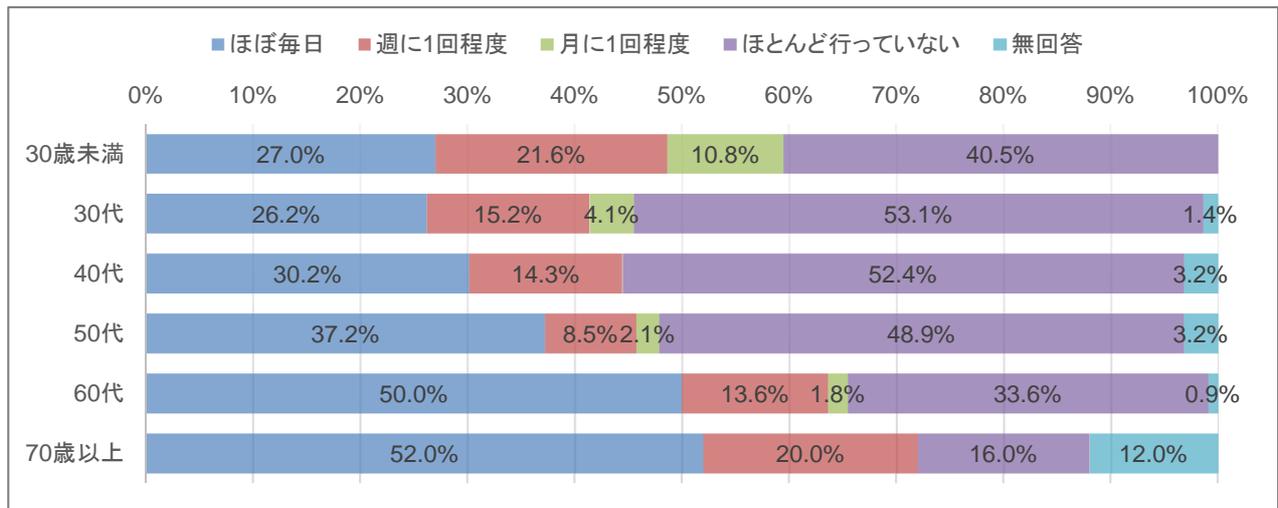
**設問9** あなたは、普段どれくらい「運動」（ウォーキングや軽い体操）や、健康を意識した「生活活動」（農作業や家事、階段の上り下り等も含む）を行っていますか。

また、1回あたりの運動や活動の時間はどのくらいですか。

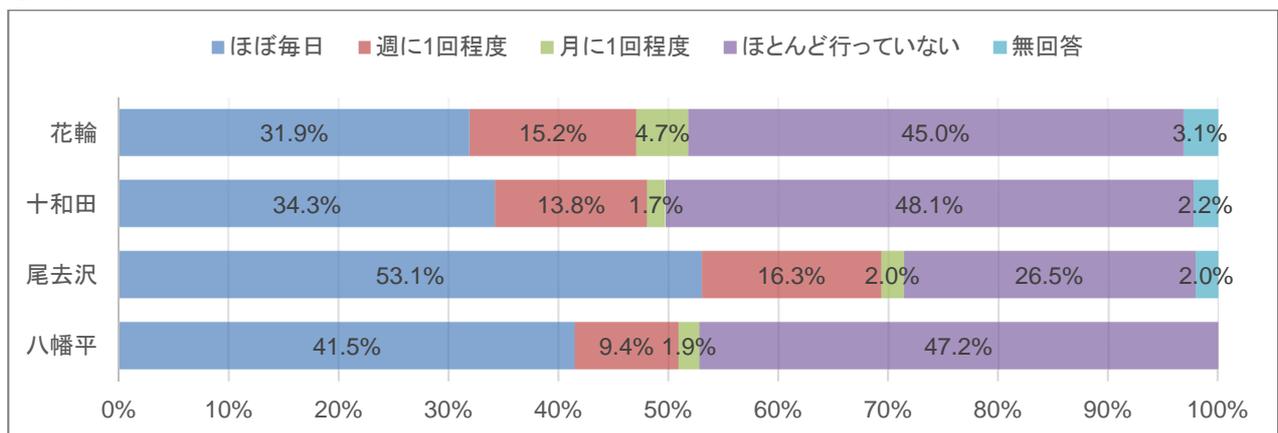
### ①全体／男女別



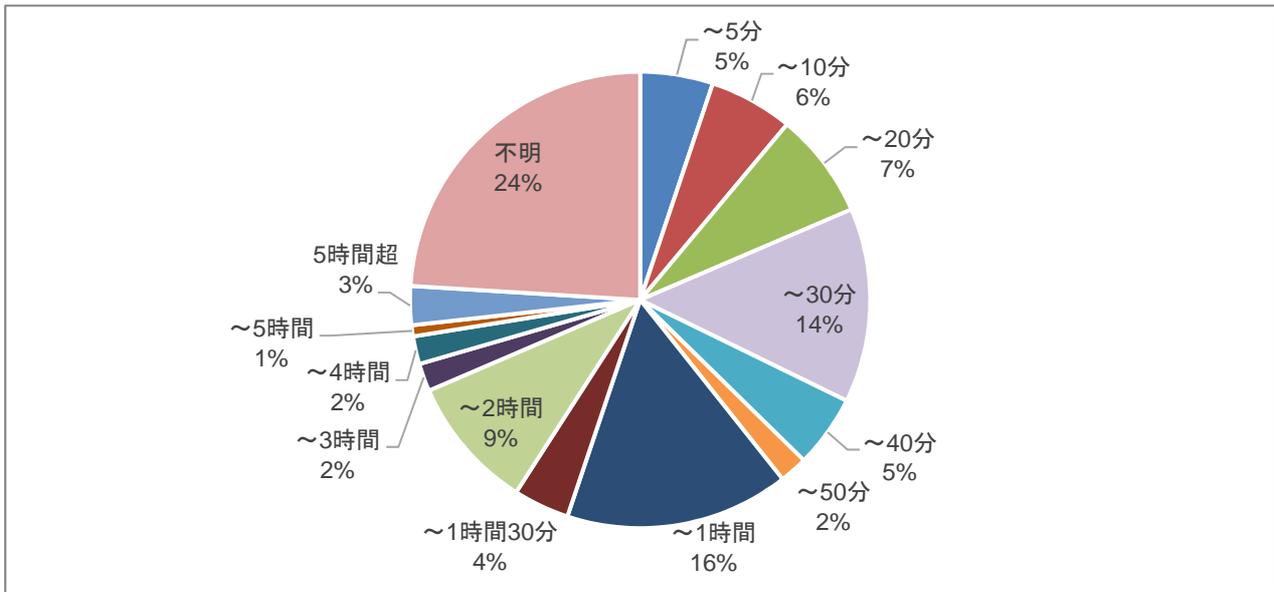
### ②年代別



### ③地区別



#### ④ 1回あたりの運動時間（N=255）



#### ⑤ 分析結果

週1回以上、運動やスポーツを実施している市民の割合は、平成25年度から50%を超えていますが、ここ数年横ばい状態が続き、基準値の58.1%を下回る結果となっています。

市では、チャレンジデーやタートルマラソン大会など誰もが参加できるスポーツイベントの開催を通じて、運動やスポーツに取り組むきっかけが継続的に提供されているものと考えていますが、特に働き盛りの40歳代から50歳代の運動をする機会やスポーツに取り組むきっかけづくりが課題となっています。

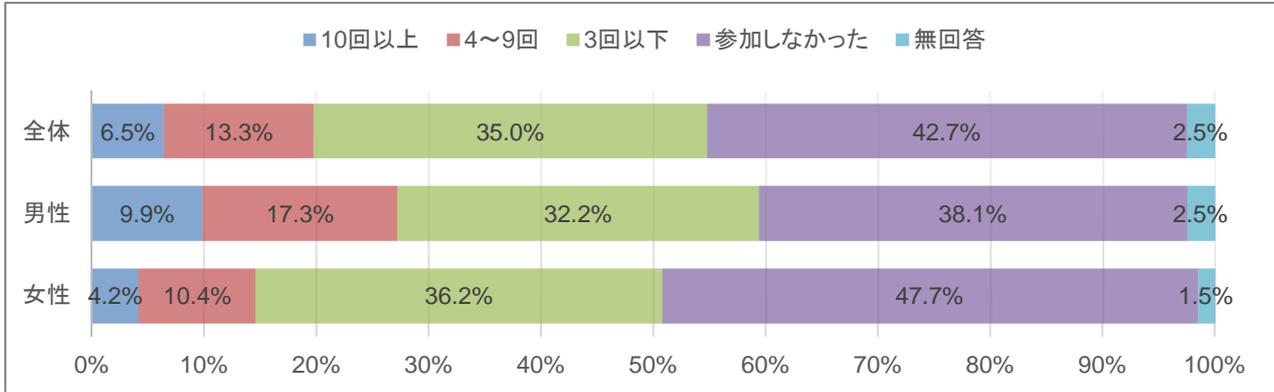
〔参考〕第2次スポーツ推進計画成果指標と実績値

成果指標	基準値（H27）	実績値（H30）	目標値（R2）
週1回以上の頻度で運動やスポーツを実施する市民の割合	<b>58.1%</b>	<b>50.3%</b>	<b>65.0%</b>

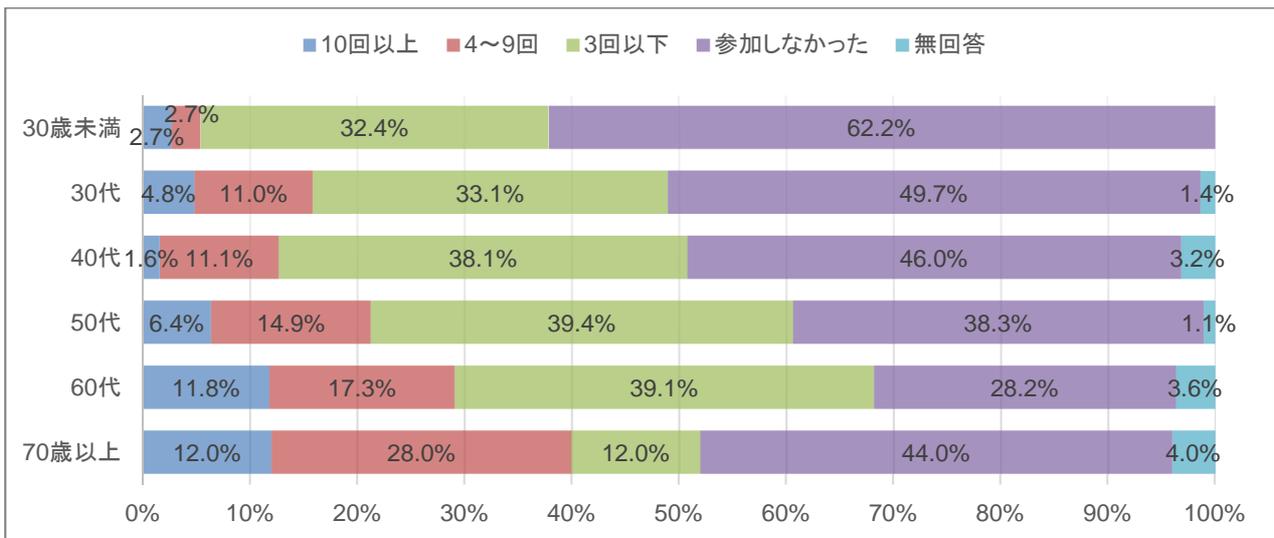
## 9 地域コミュニティについて

設問 10 あなたは、昨年1年間に社会活動や地域活動（ボランティア活動、自治会活動（クリーンアップ・運動会・スキー大会等含む）など）にどの程度参加しましたか。

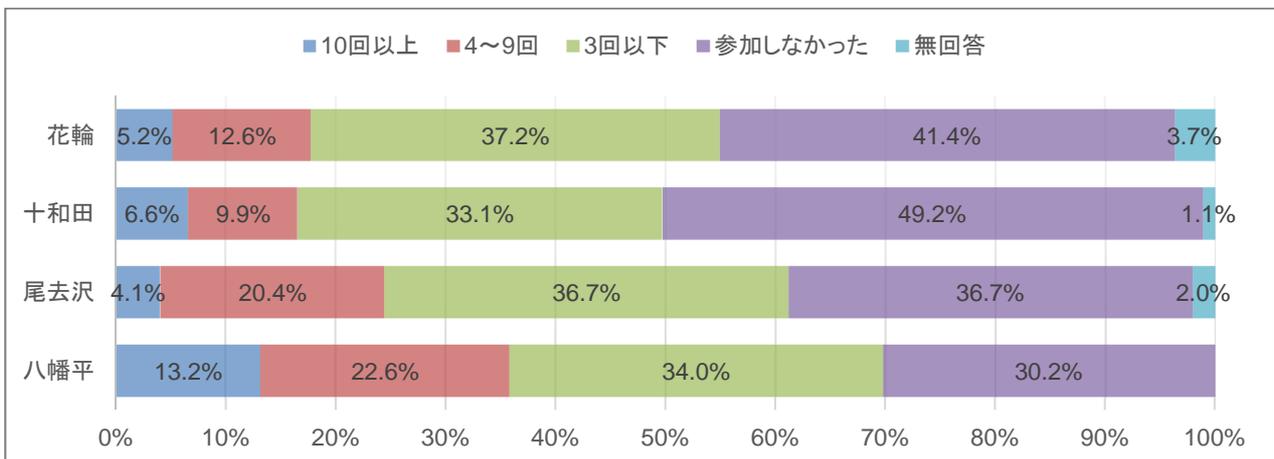
### ①全体／男女別



### ②年代別



### ③地区別



#### ④分析結果

市民が昨年 1 年間に社会活動や地域活動に参加した割合は 54.8%となり、前年の 56.6%から 1.8 ポイント下回っています。

男女別で見ると、参加割合が男性では 59.4%、女性は 50.8%と、男性が 8.6 ポイント上回っています。

年代別で見ると、30 歳未満以外のすべての世代で前年より減少しており、全体の参加割合の減少に大きく影響しています。

地区別にみると、花輪地区では前年より増加したものの、ほか 3 地区では減少しており、特に参加割合が高い八幡平と尾去沢地区も前年より減少の幅が大きくなっています。

地域活動へ参加できない理由は、仕事の都合や育児、介護のためのほか、活動の情報を知らない、興味がないという意見もあり、若年層の関心が薄い状況でした。

今後は、地域コミュニティのさらなる活性化を目指し、多くの世代の参加につながるよう支援します。

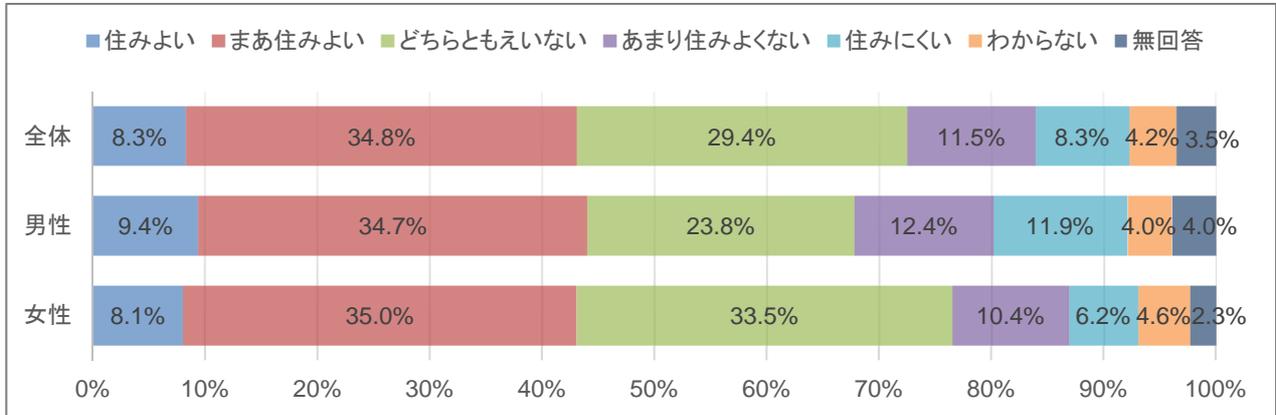
〔参考〕第 6 次総合計画成果指標と実績値

成果指標	基準値 (H26)	実績値 (H30)	目標値 (H32)
社会活動や地域活動（ボランティア活動・自治会活動など）に参加した市民の割合	<b>70.5%</b>	<b>54.8%</b>	<b>75.0%</b>

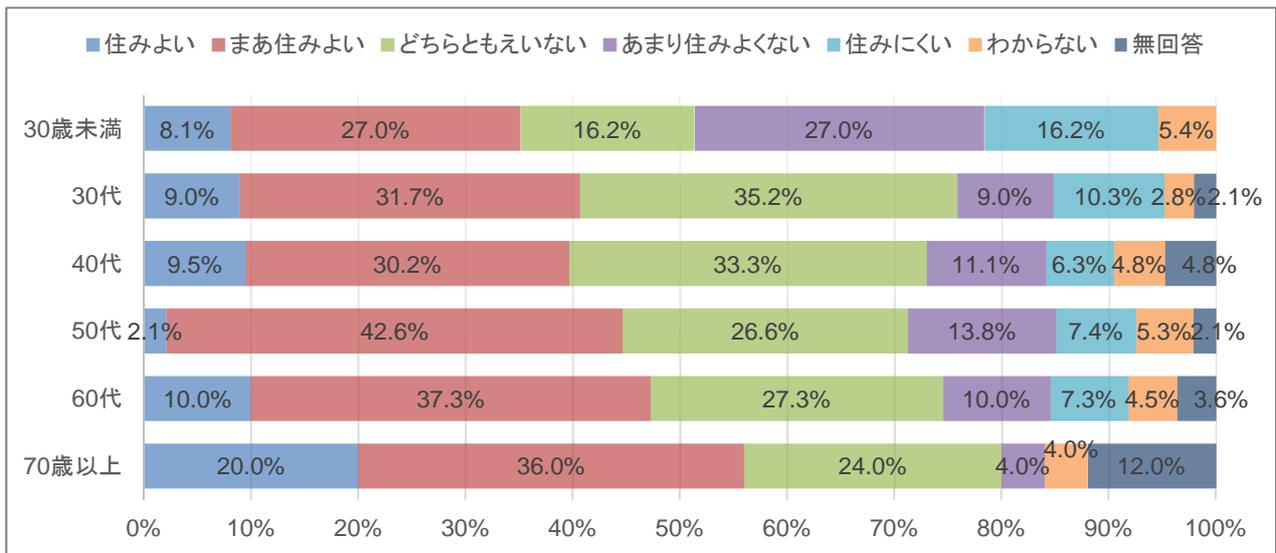
## 10 住みごころについて

設問 11① あなたにとって、鹿角市の住みごころはどうですか。

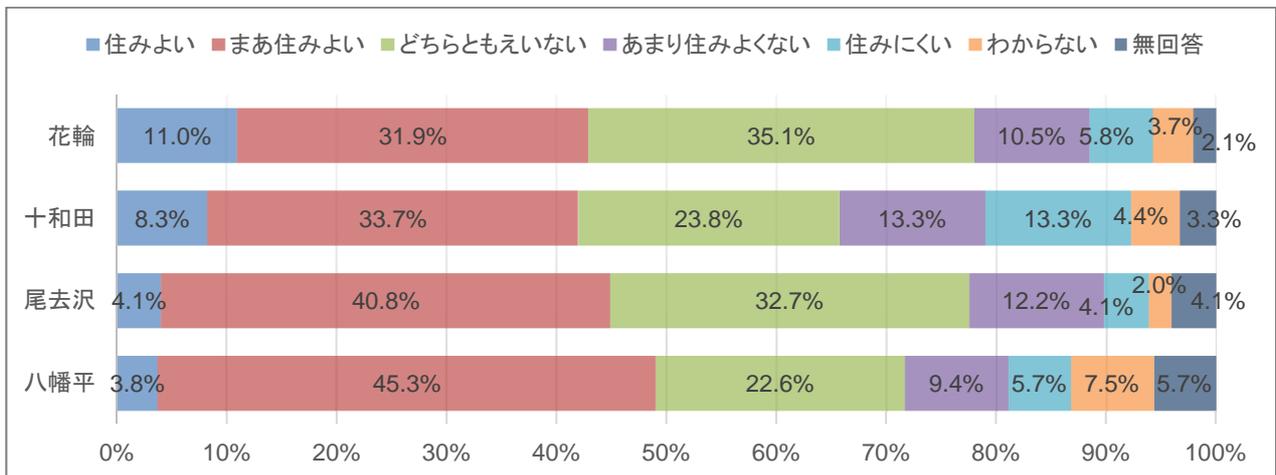
### ①全体／男女別



### ②年代別



### ③地区別



#### ④分析結果

「住みよい」「まあ住みよい」と回答した方は 43.1%であり、「あまり住みよくない」「住みにくい」の 19.8%を大きく上回っているものの、前年（51.1%）から 8.0 ポイント減少し、基準値を下回る結果となりました。

年代別では、70 歳以上が 56.0%と最も高く、次いで 60 代が 47.3%、50 代が 44.7%という結果となり、70 歳以上を除くすべての年代において前年を下回りました。特に 30 歳未満では前年より 12.7 ポイント、30 代では 11.0 ポイント減少しています。

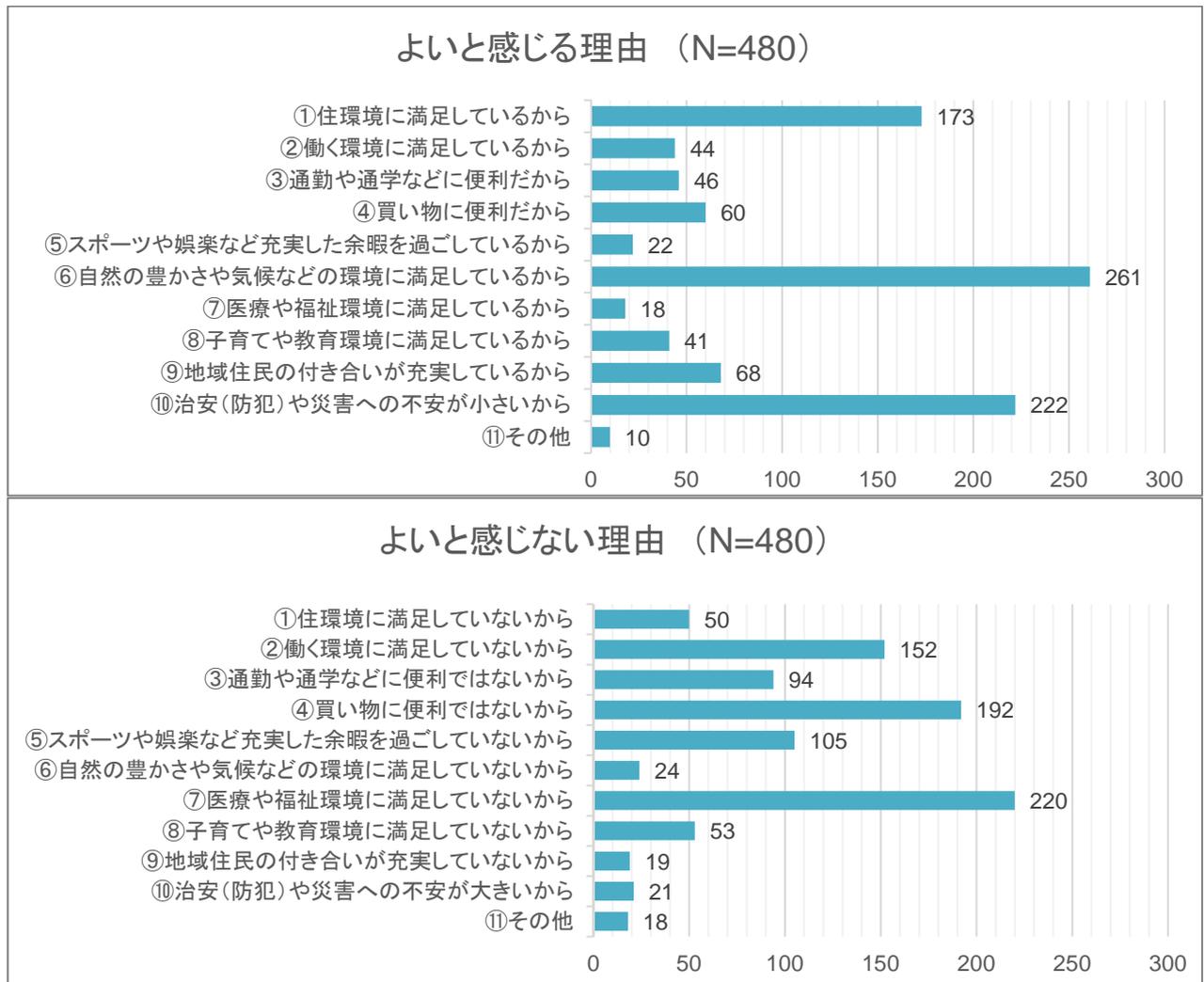
地区別では、「住みよい」「まあ住みよい」と回答した方が、八幡平地区の 49.1%が最も高く、いずれの地区においても 50%を下回る結果となりました。

〔参考〕 まち・ひと・しごと創生総合戦略数値目標と実績値

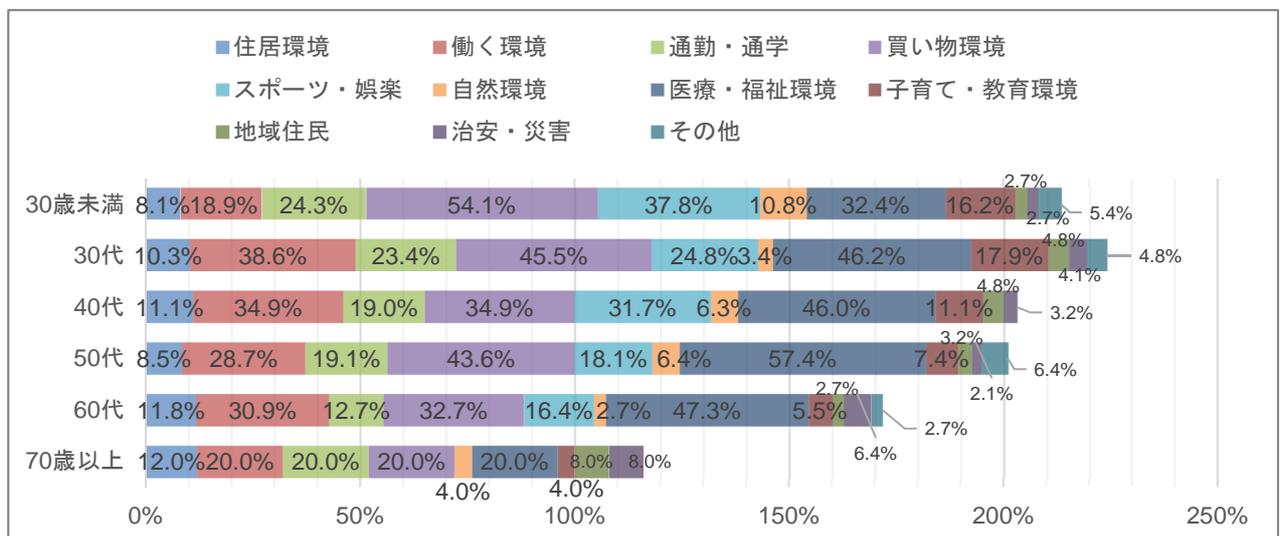
数値目標	基準値 (H26)	実績値 (H30)	目標値 (H31)
住みごこちの満足度	<b>54.7%</b>	<b>43.1%</b>	<b>60.0%</b>

設問 11② 住みごちについて考えたとき、よいと感じる理由とよいと感じない理由を、下表の中から、それぞれ3つまで選び、番号を記入してください。

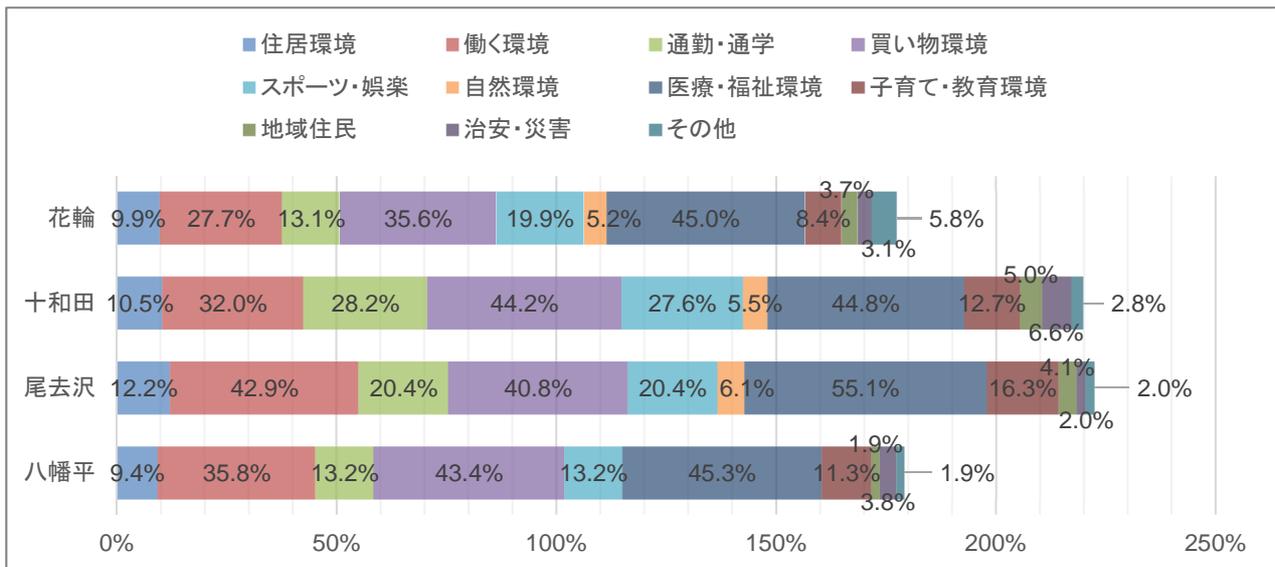
①全体（3つまで選択）



②年代別（よいと感じない理由）



### ③地区別（よいと感じない理由）



### ④分析結果

住みよいと感じる理由として最も多かったのは、「自然の豊かさや気候などの環境に満足しているから」でした。次いで、「治安（防犯）や災害への不安の少なさ」「住環境に満足」が多く選択されました。「その他」の自由記述の内容としては、「高速道路を利用した近隣都市へのアクセスが便利」という意見が多く見られました。

住みよいと感じない理由としては、「医療や福祉環境に満足していない」「買い物に便利ではない」「働く環境に満足していない」が上位となりました。

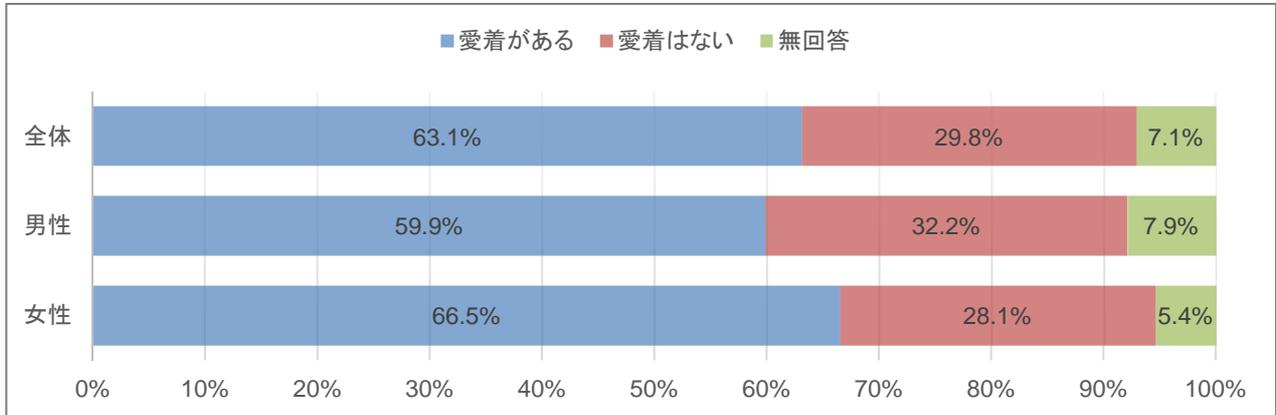
年代別では、前問で 43.2%の方が「あまり住みよくない」「住みにくい」と回答している 30 歳未満において、「買い物に便利ではない」や「スポーツや娯楽で充実した余暇を過ごしていない」という理由が多く選択されています。

地区別では、「あまり住みよくない」「住みにくい」と答えた方が 26.6%で最も多い十和田地区で、「通勤や通学などに便利ではない」という理由が他地区よりも多く選ばれています。

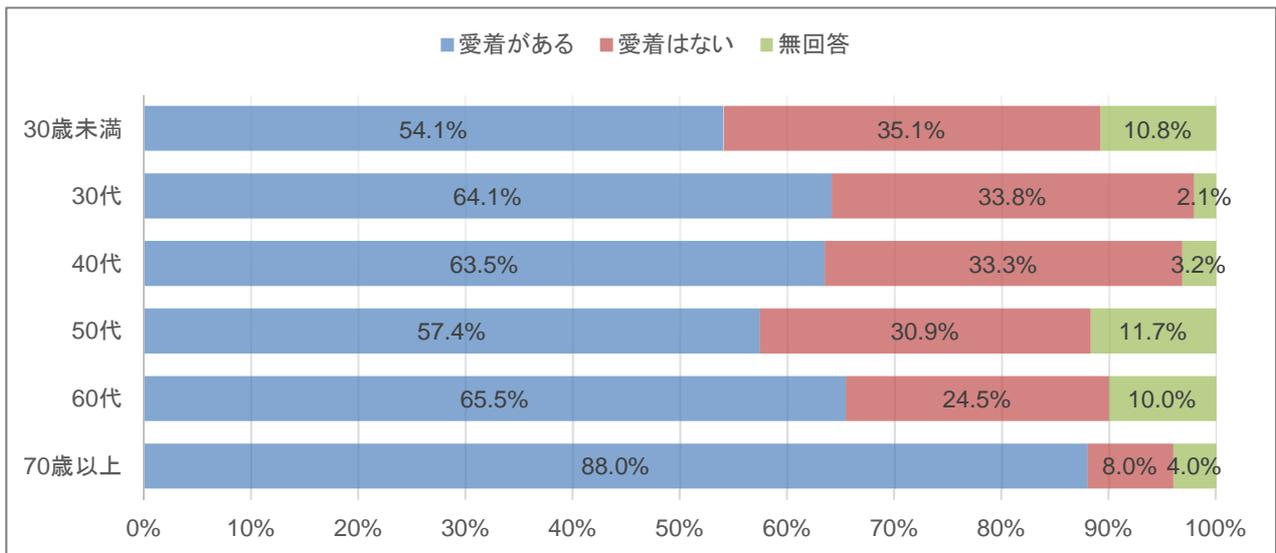
## 11 愛着について

設問 12 あなたは、鹿角市に愛着を持っていますか。

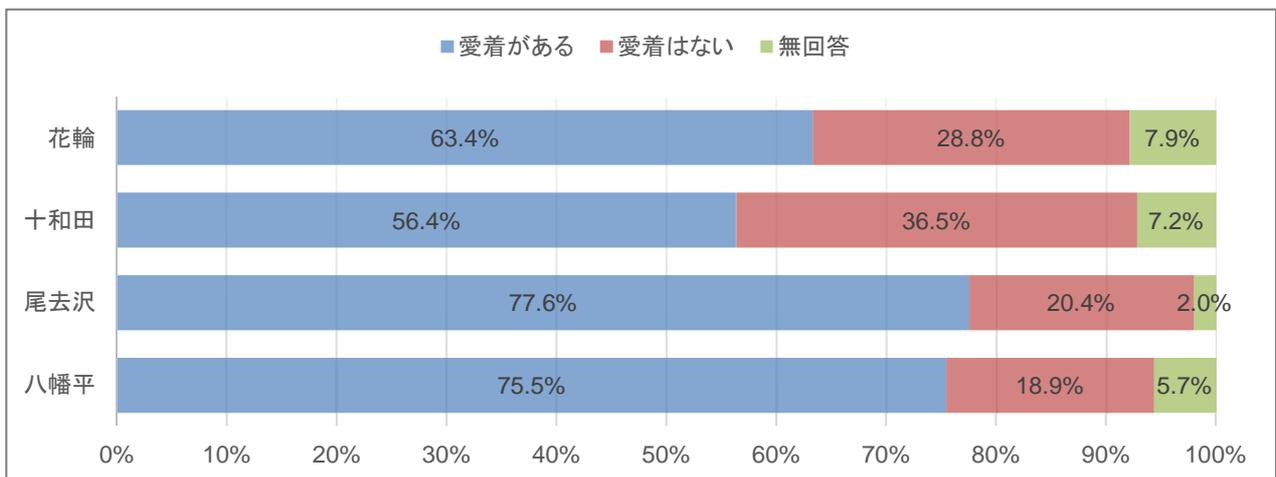
### ①全体／男女別



### ②年代別



### ③地区別



#### ④分析結果

鹿角市に愛着がある方の割合は 63.1%で、前年（69.3%）を 6.2 ポイント下回りました。

年代別でみると、70 代が 88.0%と最も高くなりました。一方で、昨年最も高かった 50 代が 20.6 ポイント減少の 57.4%と大きく減少する結果となりました。

依然として、30 歳未満がもっとも低くはありますが、前年の 43.5%に対し 10.6 ポイント上昇の 54.1%と改善しており、全世代で愛着のある方の割合が 50%を超えました。

地区別でみると、尾去沢地区が 8.2 ポイント増加し最も高くなっていますが、それ以外の地区ではいずれも昨年度を下回る結果となり、特に十和田地区は 11.6 ポイントと大きく減少しています。

〔参考〕 まち・ひと・しごと創生総合戦略重要業績評価指標（KPI）と実績値

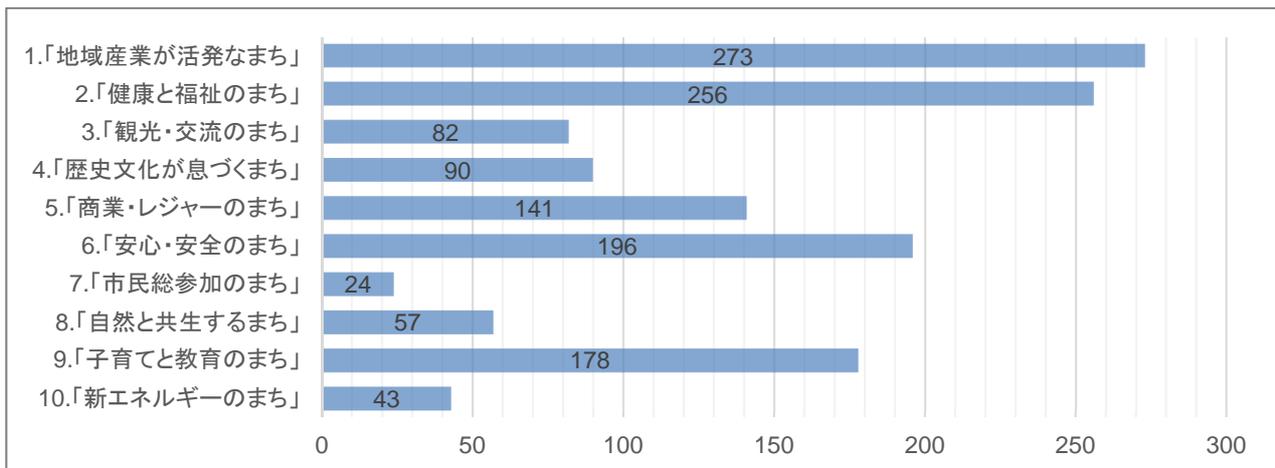
重要業績評価指標（KPI）	基準値	実績値（H30）	目標値（H31）
鹿角に愛着を持つ人の割合	—	<b>63.1%</b>	<b>68.0%</b>

## 12 将来のまちの姿について

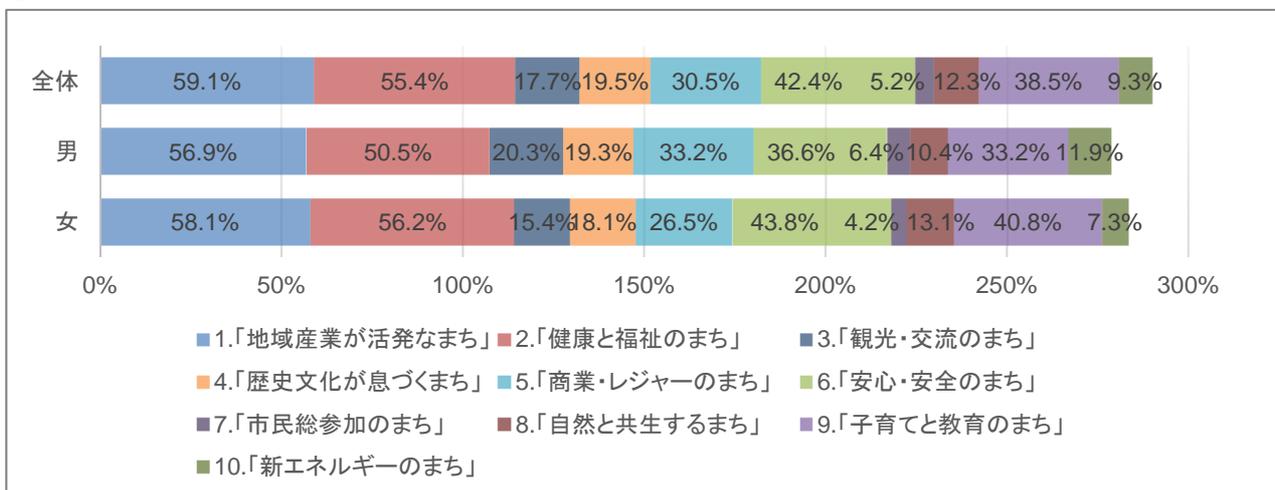
**設問 13** あなたや家族、地域のひとが将来にわたって豊かに暮らすために、大切だと思うまちの姿を3つまで選び○をつけてください。

1. 職業選択が豊富で、経済成長し続ける「地域産業が活発なまち」
2. 誰もが健康に暮らせ、福祉が充実した「健康と福祉のまち」
3. 多くの観光客や市外との交流が活発な「観光・交流のまち」
4. 伝統や文化が継承され「歴史文化が息づくまち」
5. 娯楽や買い物施設が多く、余暇活動が充実した「商業・レジャーのまち」
6. 災害や犯罪の少ない「安心・安全のまち」
7. 住民がつながり、誰もがまちづくりに参画する「市民総参加のまち」
8. 農山村環境が守られ、「自然と共生するまち」
9. 子育てや教育環境が充実した「子育てと教育のまち」
10. 環境資源と先端技術を活用した「新エネルギーのまち」

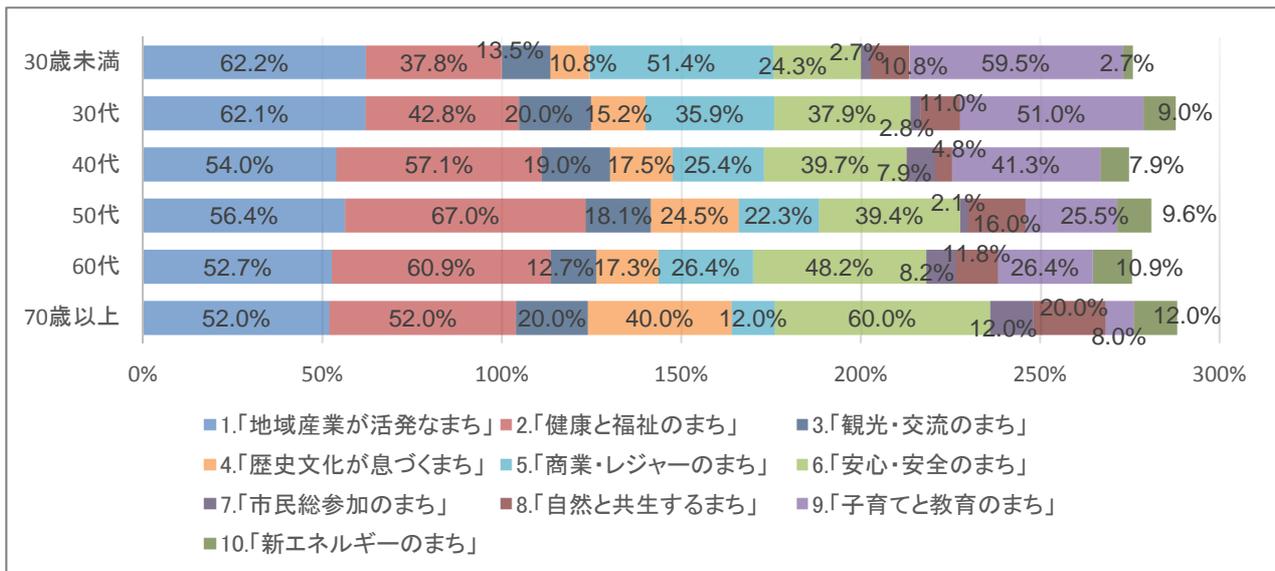
### ①全体



### ②男女別



### ③年代別



### ④分析結果

将来にわたり豊かに暮らすために大切なまちの姿として最も多く選ばれたものは、職業選択が豊富で経済成長し続ける「地域産業が活発なまち」となっています。2番目には、誰もが健康に暮らせ、福祉が充実した「健康と福祉のまち」、3番目には、災害や犯罪の少ない「安心・安全のまち」が多く選ばれています。

年代別の傾向を見ると、「地域産業が活発なまち」はどの年代からも多く選ばれています。「健康と福祉のまち」は40代から60代から多く選ばれていますが、「安心・安全のまち」は年代が上がるほど重視される傾向にあり、一方では「子育てと教育のまち」と「商業・レジャーのまち」は、若年層ほど重視される傾向にあります。

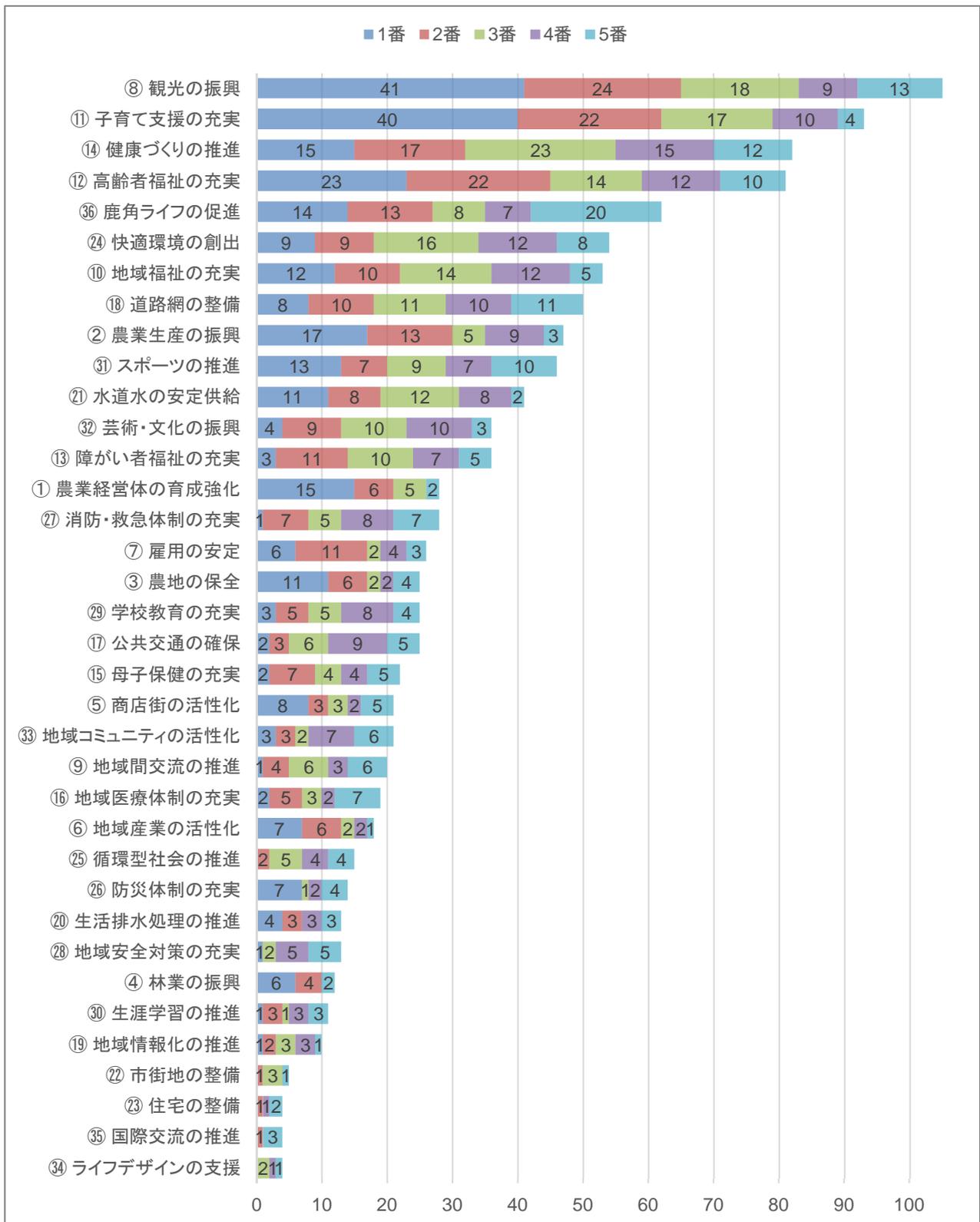
産業力の向上や健康で安心・安全な暮らしは、地域全体の活力の創出に必要不可欠であることから、この結果を市民が望むまちづくりの重要なテーマとしてとらえ、将来都市像の検討に生かします。

## 13 市の政策について

設問 14① 市が進めている取組の中で、効果が得られていると感じるものを下表の 36 項目から順に 5 つ選んでください。

### ①全体（項目別選択割合／複数回答）

〔単位：点〕



順位	前年順位	施策No.・施策名	1番	2番	3番	4番	5番	計
1	(8)	⑧ 観光の振興	41	24	18	9	13	105
2	(1)	⑪ 子育て支援の充実	40	22	17	10	4	93
3	(2)	⑭ 健康づくりの推進	15	17	23	15	12	82
4	(3)	⑫ 高齢者福祉の充実	23	22	14	12	10	81
5	(4)	⑳ 鹿角ライフの促進	14	13	8	7	20	62
6	(13)	㉔ 快適環境の創出	9	9	16	12	8	54
7	(11)	⑩ 地域福祉の充実	12	10	14	12	5	53
8	(9)	⑱ 道路網の整備	8	10	11	10	11	50
9	(7)	② 農業生産の振興	17	13	5	9	3	47
10	(5)	㉑ スポーツの推進	13	7	9	7	10	46
11	(12)	㉒ 水道水の安定供給	11	8	12	8	2	41
12	(6)	㉓ 芸術・文化の振興	4	9	10	10	3	36
12	(18)	⑬ 障がい者福祉の充実	3	11	10	7	5	36
14	(15)	① 農業経営体の育成強化	15	6	5	0	2	28
14	(10)	㉗ 消防・救急体制の充実	1	7	5	8	7	28
16	(17)	⑦ 雇用の安定	6	11	2	4	3	26
17	(18)	③ 農地の保全	11	6	2	2	4	25
17	(21)	㉙ 学校教育の充実	3	5	5	8	4	25
17	(22)	⑰ 公共交通の確保	2	3	6	9	5	25
20	(16)	⑮ 母子保健の充実	2	7	4	4	5	22
21	(23)	⑤ 商店街の活性化	8	3	3	2	5	21
21	(20)	㉓ 地域コミュニティの活性化	3	3	2	7	6	21
23	(27)	⑨ 地域間交流の推進	1	4	6	3	6	20
24	(25)	⑯ 地域医療体制の充実	2	5	3	2	7	19
25	(23)	⑥ 地域産業の活性化	7	6	2	2	1	18
26	(32)	㉕ 循環型社会の推進	0	2	5	4	4	15
27	(14)	㉖ 防災体制の充実	7	0	1	2	4	14
28	(30)	㉚ 生活排水処理の推進	4	3	0	3	3	13
28	(28)	㉘ 地域安全対策の充実	1	0	2	5	5	13
30	(31)	④ 林業の振興	6	4	0	0	2	12
31	(33)	⑳ 生涯学習の推進	1	3	1	3	3	11
32	(25)	⑰ 地域情報化の推進	1	2	3	3	1	10
33	(33)	㉒ 市街地の整備	0	1	3	0	1	5
34	(29)	㉓ 住宅の整備	0	1	0	1	2	4
34	(35)	㉔ 国際交流の推進	0	1	0	0	3	4
34	(36)	㉕ ライフデザインの支援	0	0	2	1	1	4

## ②分析結果

効果が得られていると感じる施策として、最も多くの方に選択されたのは「観光の振興」で105人（去年は51人）が選択しています。選択理由で多かった記載は、ユネスコ無形文化遺産である花輪ばやしのPRに力を入れていることや、道の駅あんたらあ、道の駅おおゆを中心に観光客で賑わっていること、映画『ダイヤモンドナイト』のプロモーションが行われたことなどが挙げられ、観光客数が増加していると感じる意見もありました。実際に平成30年度の本市の観光客数及び宿泊客数を見ると、前年に比べそれぞれ1.4%と3.4%の増加となっており、成果が数値として表れています。施策の展開によって、市民が成果を実感できるようになったことが昨年度から大幅に順位を上げた理由と考えられます。

2番目に多く選択されたのは「子育て支援の充実」で93人（去年は109人）が選択しています。保育料の軽減や高校生までのマル福などの経済的支援の充実をはじめ、一時預かりや休日保育などの保育サービスの充実、親子イベントや育児サークルが豊富なことなどが子育て世代を中心に高い満足度が得られています。しかし、平成25年度以降、継続して1番目であった当施策の評価が今年度は2番目に下がっており、出産や小児科医等の充実を望む市民ニーズの増加が影響していることから、子育て支援と医療体制の充実の両面を確保していくことが必要となっています。

3番目に多く選択されたのは「健康づくりの推進」で82人（去年は90人）が選択しています。定期的な健診の実施とともに、対象者への呼びかけや案内などが丁寧に行われていることが高く評価されています。

4番目に多く選択されたのは「高齢者福祉の充実」で、81人（去年は85人）が選択しています。昨年度と同様に、介護予防施設の整備が充実していることや、一人ひとりのニーズに合った対応がなされていることなどが評価されています。

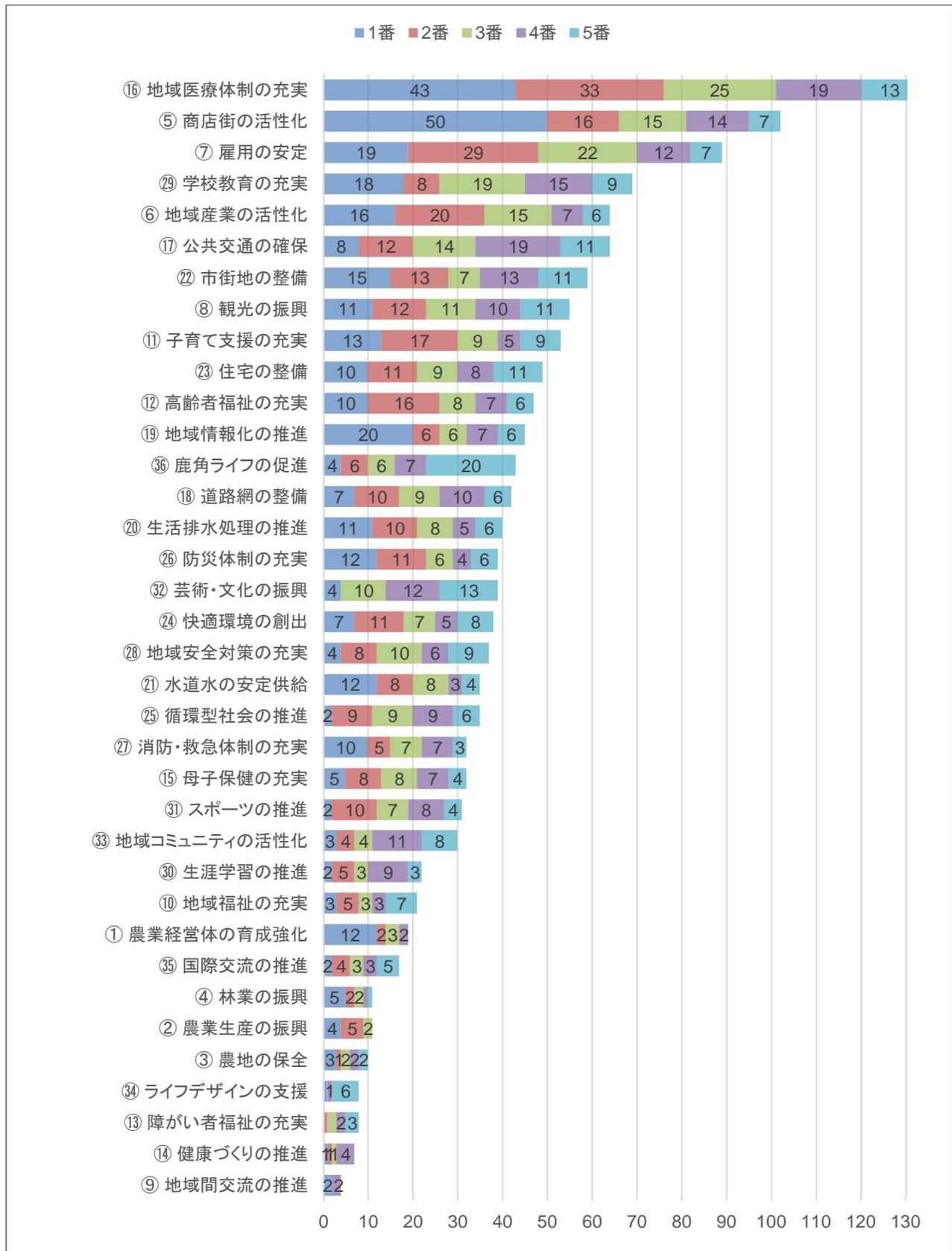
5番目は「鹿角ライフの促進（移住定住）」で、62人（去年は60人）が選択しています。移住促進の取組が雑誌やインターネット、報道等で取り上げられているとともに、充実した移住支援策によって着実に移住実績を上げていることが、市民の目に見える形で成果に表れていることが評価につながりました。

それ以降の施策については、「快適環境の創出」が昨年度より7つ順位を上げた6番目となり、ごみの適切な分別やきれいな環境が維持されていることが評価されたほか、「地域福祉の充実」も昨年の11番目から4つ順位を上げた7番目となっており、迅速な対応がなされているとの評価がありました。

設問 14② 市が進めている取組の中で、もっと「ちから」を入れて欲しいと感じるものを下表の36項目から順に5つ選んでください。

①全体（項目別選択割合／複数回答）

〔単位：点〕



順位	前年順位	施策No.・施策名	1番	2番	3番	4番	5番	計
1	(1)	⑩ 地域医療体制の充実	43	33	25	19	13	133
2	(3)	⑤ 商店街の活性化	50	16	15	14	7	102
3	(2)	⑦ 雇用の安定	19	29	22	12	7	89
4	(4)	⑳ 学校教育の充実	18	8	19	15	9	69
5	(6)	⑥ 地域産業の活性化	16	20	15	7	6	64
5	(13)	⑰ 公共交通の確保	8	12	14	19	11	64
7	(9)	㉒ 市街地の整備	15	13	7	13	11	59
8	(5)	⑧ 観光の振興	11	12	11	10	11	55
9	(7)	⑪ 子育て支援の充実	13	17	9	5	9	53
10	(13)	㉓ 住宅の整備	10	11	9	8	11	49
11	(16)	⑫ 高齢者福祉の充実	10	16	8	7	6	47
12	(16)	⑱ 地域情報化の推進	20	6	6	7	6	45
13	(10)	⑳ 鹿角ライフの促進	4	6	6	7	20	43
14	(12)	⑱ 道路網の整備	7	10	9	10	6	42
15	(21)	㉔ 生活排水処理の推進	11	10	8	5	6	40
16	(18)	㉖ 防災体制の充実	12	11	6	4	6	39
16	(13)	㉓ 芸術・文化の振興	4	0	10	12	13	39
18	(11)	㉔ 快適環境の創出	7	11	7	5	8	38
19	(8)	㉔ 地域安全対策の充実	4	8	10	6	9	37
20	(22)	㉔ 水道水の安定供給	12	8	8	3	4	35
20	(24)	㉕ 循環型社会の推進	2	9	9	9	6	35
22	(23)	㉗ 消防・救急体制の充実	10	5	7	7	3	32
22	(28)	⑮ 母子保健の充実	5	8	8	7	4	32
24	(18)	㉑ スポーツの推進	2	10	7	8	4	31
25	(20)	㉓ 地域コミュニティの活性化	3	4	4	11	8	30
26	(25)	㉒ 生涯学習の推進	2	5	3	9	3	22
27	(25)	⑩ 地域福祉の充実	3	5	3	3	7	21
28	(29)	① 農業経営体の育成強化	12	2	3	2	0	19
29	(29)	㉕ 国際交流の推進	2	4	3	3	5	17
30	(33)	④ 林業の振興	5	2	2	1	1	11
30	(27)	② 農業生産の振興	4	5	2	0	0	11
32	(35)	③ 農地の保全	3	1	2	2	2	10
33	(32)	㉒ ライフデザインの支援	1	0	0	1	6	8
33	(33)	⑬ 障がい者福祉の充実	0	1	2	2	3	8
35	(31)	⑭ 健康づくりの推進	1	1	1	4	0	7
36	(35)	⑨ 地域間交流の推進	2	0	0	2	0	4

## ②分析結果

もっと力を入れて欲しいと感じる施策として、最も多くの方に選択されたのは、昨年度に引き続き「地域医療体制の充実」で133人（昨年は125人）が選択しています。特に、30代から40代の女性層で産科医の確保と小児科医の充足を望む声が多く、今後の医療体制を不安に思う意見が多数ありました。当施策は、設問14①でも触れたとおり、「子育て支援の充実」に大きく影響を与えており、当アンケートの意見の中で「地元で子どもを産みたい」という声が多くあることは、市民にとって両施策の充実を図ることが重要であると考えられます。そのほか、60代からは、診療科数が少なく、近隣の自治体まで通わなければならない不便さや、高齢者及び認知症患者の増加による医療体制の充実を求める声もありました。

2番目に多く選択されたのは「商店街の活性化」で、102人（昨年85人）が選択しています。年々当施策に力を入れてほしいを考える市民の数が増加してきており、選択者は過去3年間で最も高くなっています。主な理由として挙げられているのは、店舗の減少による商店街の空洞化や歩行者の少なさに加え、顧客に対して魅力的な商品が不足していること、宣伝やPRが不足していることなどであり、地域住民のニーズに十分応えられていないことが考えられます。また、30代や30代未満の若年層では、「大型店だけではまちは成り立たない」「大型店だけではなく、人々が集える賑やかな商店街が必要」という声もあり、商店街機能がまちづくりの上で重要な位置付けを有すると捉えていることが考えられます。そのほか、後継者不在により店舗の存続を危惧する声もありました。

3番目に多く選択されたのは「雇用の安定」で89人（昨年は94人）が選択しています。若年層の市外・県外流出を防ぐために、若者の働く場の確保を望む声や、賃金の向上を求める声が多くありました。一方で、働き手の不足で育休など自身のライフスタイルに応じた働き方が困難になっているという意見もあり、依然として高水準で推移している有効求人倍率による人手不足の実態が新たな課題を生んでいるものと考えられます。当施策は、「地域産業の活性化」と密接に関連しており、産業振興と雇用の安定によって若年層の定住に結びつく好循環のサイクルが必要であり、市として一層力を入れていく必要があります。

4番目の「学校教育の充実」は69人（昨年79人）が選択しています。児童生徒の将来の夢に結びつくような教育や、地元へのUターン意識が醸成される教育を望む声があり、地域、家庭が学校教育の充実を実感できる対策を進める必要があります。

5番目の「地域産業の活性化」は64人（昨年は74人）が選択しており、例年同様、企業誘致の継続や産業の活性化による雇用創出を望む意見が多くなっています。また、同順である「公共交通の確保」は（64人選択、昨年は43人）、高齢化に伴う免許返納後の対策を望む声が60代以上だけでなく、二世帯同居、三世帯同居の30代から50代にかけての市民からも挙がっており、当事者のみならず、同居家族からも対策の充実が望まれていることが考えられます。

## 14 自由意見

設問 15 で記述のあった自由意見は、107 名の方から 141 件の意見や感想をいただきました。自由意見については施策別に整理し、それ以外を政策全般に関すること、職員に関すること、アンケートに関すること、その他に分類し、下表に掲載しています。

### 1-1-2 農業生産の振興

地区	性別	年代	内容
八幡平	男性	60代	本当に「そばの里」になりえるか疑問である。転作としては米の減反が終了し、実際の補助金等は機械購入などに充てられていて、そばそのものを地域のものにするには、食べるところまで考えないと「里」とは言えないのではないかと思う。水田からのそば栽培は土壌に無理がある。

### 1-2-1 商店街の活性化

地区	性別	年代	内容
十和田	男性	30代	個人商店が少なくなっているの、活性化のためにインターネット広告やインターネット販売を市から提案してみてもどうでしょうか。それで利益が出れば知名度が上がり、アーケード街の来店にも少しは繋がると考えます。
花輪	男性	50代	商店街への自動車進入禁止を図る。無料駐車場の完備。電動カーの無料（格安）貸出しによる商店街の散策など。
十和田	男性	60代	花輪の商店の方々は努力されていると思う。コモッセ、鹿角花輪駅前整備など、今まで以上に街の活性化に好影響が出るように願っている。

### 1-2-2 地域産業の活性化

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	60代	もっと誘致企業を受入れ雇用の充実を図り、県外からの移住などを増やしてほしい。
十和田	男性	60代	鹿角市は年々人口が減少している。若い世代には働きたくなるような魅力ある職業が市内に少ないためではないか。物価や流行だけは都会並みで、賃金や待遇は旧態のままでは若い人たちは都会に出ていく。職業の選択肢を多くするために魅力ある勢いのある企業誘致を積極的に行ってもよいのではないか。

### 1-2-3 雇用の安定

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	30歳未満	労働者に対し、求人は増えているが賃金がいまだに少ないので、給料の増額をしてほしい。県外に出ていく若い人たちは賃金が低かったり、遊ぶところが少ないなどの理由で出ていく人が多いので解決してほしい。
十和田	女性	30代	働く環境の充実さが求められると思う。
花輪	男性	40代	他の市町村も同様だと思いますが、少子高齢化の影響が多く出ていると思います。進学し、鹿角を離れても戻ってくるよう若者が暮らしやすい街づくりを希望します。そのためには雇用の拡大、給与水準を上げるような政策が必要です。
花輪	女性	40代	高校を卒業して進学や就職で県外へ行ってしまう人が多いです。地元から離れた人向けに説明会や企業の情報など積極的に発信していくことで戻ってきたいと興味がわくと思います。どんどん鹿角に若い人たちが増えて、少しでも活性化することを願っています。

花輪	男性	60代	手取り平均16万円の給与でなんとか子供を大学まで卒業させましたが、卒業のとき、鹿角に帰ってこなくてもいいと親として返事しました。仕事はあると思いますが、給与が低く、その日なんとか暮らせるのがやっと。これを子供に勧めることができませんでした。私と同じような考えを持つ人がこれからは増えると思います。
八幡平	男性	60代	賃金の底上げが市民の生活を豊かにする第一歩だと思う。さらに移住、定住の判断基準にもなるのではないだろうか。

### 1-3-1 観光の振興

地区	性別	年代	内容
十和田	女性	30代	コモッセの駐車場が不便。四角い駐車場で効率的に停められる方が来場者に優しいと思う。大湯の道の駅も冬のことを考えていない形だと思う。雪山はいいが、看板が飛び出ている危ない。朝市の人も寒くて不便だと思う。
十和田	女性	30代	宿泊施設の充実（観光に来て泊まる場所がない。食べる場所がない）。
十和田	女性	30代	自然が豊かで食べ物や水がおいしいところが好きです。湯の駅おおゆで開催される各種イベントが多彩でわくわくします。観光客が多く、地域住民のみの閉鎖的な所が少なく、明るいところが良いと思います。
花輪	女性	40代	他県から鹿角に来てみて、「花輪ばやし」は一生のうち、一見の価値のある祭りだと思いました。どの町内でも人手不足のようですが、これからもずっと10町内で続けてほしいです。
尾去沢	女性	50代	大湯の道の駅は何のために作ったのか分からない。お金の無駄だと思う。
花輪	女性	60代	市は観光に力を入れていると思うが作りっぱなしのような気がする。既存の施設を発展させて誘客を生み出す取り組みをしてほしい。史跡尾去沢鉱山もマイランド時代のような賑わいがなくなっている気がする。尾去沢鉱山の山々を市民や他市の人たちに植樹してもらい、家族、子供たちが遊べる公園や遊具を作るなど考えてほしい。駅前ももっと人が集まれるような賑わいのある場所になったらいいと思う。お祭り以外は寂しい。駅前の声良鶏の銅像も全くかえりみられず悲しい。先日観光客が写真を撮っていたので、インスタ映えするようになればいいと思う。花輪の名にふさわしい花にあふれた広場になってくれたらいいと思う。花輪線に蒸気機関車を走らせられないか。イベント列車をもっと走らせたらいいのではないか。
花輪	女性	70代以上	観光振興（案）。あんたらあの改築と合わせて、きりたんぼ発祥の地としてきりたんぼの館等を併設し、きりたんぼのルーツ、きりたんぼ料理やきりたんぼ体験工房等をつくり、観光客にきりたんぼを広く宣伝し、いつでも鹿角に来られたら、きりたんぼが食べられる街にしてほしい。きりたんぼにこだわった地域づくりを。

### 2-1-2 子育て支援の充実

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	30代	賃金は上がり税金だけが上がって生活が大変だ。所得に応じて、児童手当の金額を決めてほしい。
花輪	女性	30代	子供用品（新生児から小学生前）を買う場所がないのが困ります。しまむら、イトクなどは大きい子の服や婦人ものが充実しているのですが、子供のものが少なく感じます。西松屋やバースデイのような安価な店舗があったらいいです。小さい子と一緒に隣の市まで行くのは大変です。ぜひ子育てする中の一助として考えていただきたいです。
十和田	男性	30代	子育て支援はとてもいいことですが、せっかく支援してきた子供たちが鹿角を出て他の地で働き、そのまま戻ってこない、この負のループを何とかしてもらいたいと思います。子育て支援が実りある支援になることを願います。それと、マル福制度の所得制限

			を緩和してほしいです。
十和田	女性	30代	ひとり親の施策について。他県から移住したのですが、施策が充実しているとは言えず、ひとり親家庭にとって住みにくい。近くに実家があれば、頼らざるを得ない。様々な事情を抱えている人もいるので、もう少し充実してほしい。
十和田	女性	30代	子育て中は急に必要になる物品がたくさんあるので、毛馬内にイオングループなどの誘致をお願いします。現状では、すぐ手に入れることができなく大変です。フリーマーケットイベントの企画、開催をお願いします。
八幡平	女性	30代	子供を市内で出産できないのは、不安だから出産しないという考えになることもあるので、出産できる鹿角市にしてほしい。出産後のサポートを充実させてほしい。保育園と企業は母乳育児について理解し、母乳をあげられるようにしてほしい。男性も育休を必ず取ってほしい。子供の体調不良時の企業理解を深め、休めるようにしてほしい。子供が小さいから就職に不利にならないようにしてほしい。男性でも子供のおむつ交換ができるトイレや授乳スペース、ベビールームを施設や企業に作って欲しい。道の駅の授乳スペースとおむつ交換場所を整備してほしい。冬は寒いし、外から出入りしやすく丸見えで近くに喫煙スペースがあり、授乳スペースはカーテンのみで男性も入れるし、防犯性がない。出産・妊婦タクシー・子育てタクシーがあればいい。厚木市は第2子以降紙おむつ、おしりふきが1年支給、山梨県早川町は小中学生の教材費給食費を市が負担などたくさんの自治体が行っている所以取り入れてほしい。
花輪	男性	60代	母子家庭手当の手続きが平日のため、仕事で行けず困っていると相談を受けました。休日でも手続きできるようにならないもののでしょうか。または、家族が代わりに手続きできるような対応をとることはできないもののでしょうか。

### 2-1-3 高齢者福祉の充実

地区	性別	年代	内容
花輪	無回答	30歳未満	高齢者の入所できる施設の充実が必要です。
十和田	女性	40代	介護保険を引かれている親を見ていると、年金で生活している金額から引かれる金額が多くてこの先不安です。また、両親の面倒を見ることや介護をしながら仕事ができるか不安です。
十和田	男性	50代	老人が買い物できる街づくりをしてほしい。
十和田	女性	60代	社会とつながりを持ちたいと思っても、働く場がない、そこまで行く手段がないなどと思っている高齢者は多いと思う。また、発信方法も「鹿角」を読めない方もいると思うので、考えていく必要がある。
八幡平	女性	60代	年金に対して介護保険の額が大き過ぎると思う。年金で生活している人は生活できないと思う。3食毎日食べられる生活を希望します。

### 2-1-4 障がい者福祉の充実

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	40代	障がい者福祉の充実を望みます。福祉課職員のさらなる知識教養のレベルアップを望みます。

### 2-2-3 地域医療体制の充実

地区	性別	年代	内容
十和田	女性	30歳未満	産婦人科を復活させてほしい。

十和田	女性	30歳未満	鹿角で出産できる環境をつくってほしい。
十和田	男性	30代	テレフォン病院 24 に電話したが、なかなかつながらなくて困った。
花輪	男性	30代	市内の小児科がなくなり、かつの厚生病院に頼るしかないが、待ち時間も長く不安。マル福があっても、行く病院がない状態でよいのか。地域の未来が見えない。
花輪	女性	30代	また鹿角で出産できるようになってほしい。小児科を増やしてほしい。医師の確保をお願いしたい。
十和田	女性	30代	医師の確保に力を入れてください。
十和田	女性	30代	医療機関の充実が必要です。
尾去沢	女性	30代	子育てするのに近くに小児科はないし、産み育てるのに大館まで行かないといけないうちの娘は鹿角で産めたらと思えば、次の出産も考えられるのですが、小さい子供もいて、いつ何があるか分からないので、小児科はなくしてほしいです。市でも努力してくれていると思って、これからいい方向に行くよう期待しています。
十和田	女性	30代	分娩施設がないのが困る。
尾去沢	女性	30代	地域医療の地域内又は近隣地域（大館など）との連携を強めてほしい。私自身医療職だが、医師の激務を知っているだけに、これ以上地域に医師を増やすのは困難ではないかと思う。1人2人増員する程度では医師側が酷すぎる。代わりに地域医療の質の向上と各病院、各施設の連携を強められたら患者情報の共有がもっと迅速になって働く側も楽になる。
花輪	女性	40代	鹿角市内に出産できる病院がないのは、どんどん進む少子化を止められない要因だと思います。安心して妊娠出産できる環境がないので、うちの娘は鹿角に戻りたいと言っていますが、親としては賛成してやれず、とても複雑な心境です。就職先が少なすぎるというのも同じです。人口流出はよいと思ってはいませんが、我が子を将来ずっと鹿角で生活させるには、不安要素が多すぎます。秋田、鹿角を出てみて、秋田、鹿角の良さが分かった、ぜひ戻って秋田、鹿角のために頑張りたいという娘が安心して暮らせるまちづくりをお願いしたいです。ぜひ出産できる病院を鹿角に。あと、かつの厚生病院以外で耳鼻科や皮膚科などもあるとよいと思います。
尾去沢	女性	50代	お産ができない、耳鼻科、皮膚科、小児科他医療機関が少なくて不安である。
十和田	女性	60代	病院での医者（眼科）の毎週変わることに驚いてしまった。看護師の教育も必要ではないかと感じた。

### 3-1-1 公共交通の確保

地区	性別	年代	内容
十和田	男性	50代	高齢化に伴った免許返納にあたり、交通手段の確保をお願いしたい。
八幡平	男性	60代	車を運転しなくなったときの交通手段の確保が必要です。

### 3-1-2 道路網の整備

地区	性別	年代	内容
十和田	男性	30代	仕事や学校行事で秋田市に行くことが多いが、非常に行きにくいし、時間もかかる。市の方でも県や国に働きかけて秋田市までの道路を整備してほしい。
十和田	男性	30代	冬場の道路状況に毎年困っています。降雪量が多い地域なので、対策する側も大変だと思いますが特に市街地から離れると一気に道が陰しくなります。
十和田	女性	30代	道路整備が日中多く行くと渋滞になる。
十和田	女性	30代	十和田地区の交差点の横断が不便です。スクランブル化か歩道橋をもう一方にも架け

			てほしい。
十和田	無回答	40代	数少ない観光施設の史跡尾去沢鉱山に行く道路をしっかりと直した方がいいと思う。あの状態はよくないと思う。
十和田	男性	50代	大型家畜飼料車の通行を国道282号へ変えてもらうようにお願いします。理由はアスファルト舗装の損傷と各部落内での騒音及び腰廻部落の橋の老朽化に伴う危険性のため。（現在の通行区分→腰廻→工業団地→芦名沢部落→長者久保部落→四ツ谷部落→小坂町）
十和田	女性	50代	花輪の中心に入る道路で、秋田トヨタ前からいとくショッピングセンターあたりの道路の渋滞がひどいので拡幅できないか。末広のローソンのT字路が危険。
尾去沢	男性	50代	路肩等の草刈をもう少しやってほしい。
尾去沢	男性	50代	路肩等の草刈をもう少しやってほしい。
尾去沢	女性	50代	十和田八幡平の観光地の自然は素晴らしいが、道路整備が不十分。道路脇の草木の手入れもしてほしい。
八幡平	男性	50代	春先の市道の舗装の穴埋めはできるだけ早くしてほしい。
花輪	男性	60代	新聞に道の駅かづのの改修案が載っていたが、観光客が歩いて市街へ行くための歩道（あんたらあ～舟場の信号間）の幅が途中狭く、整備が必要と考えるが、国道は難しいのか。高速バスの乗降場もあり、通行人が多くなっていると思う。安全に自転車も通行できるように対策を考えてもらいたい。
十和田	男性	60代	道路の整備（舗装道路の補修）が必要です。

### 3-2-1 地域情報化の推進

地区	性別	年代	内容
十和田	男性	30代	鹿角市のホームページ（スマホ用）がとても見にくい。
十和田	女性	50代	市内全域でインターネットが使えるように整備してほしい。現在の居住地域は今後も工事予定はないと言われているが、地方の住民こそ必要不可欠だと思う。在宅ワーク、各種手続き、買い物等選択肢が広がる。

### 3-2-3 水道水の安定供給

地区	性別	年代	内容
十和田	男性	50代	水道水の水質に不安。供給元は検査されているが、配水系に劣化があるのではないかと。供給先での検査（希望者）もしてほしい。希望者が有料でも検査できる仕組みを作してほしい。

### 3-2-4 市街地の整備

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	30歳 未満	駅前工事の完成予想図を見たい。

### 3-2-5 住宅の整備

地区	性別	年代	内容
十和田	男性	30歳 未満	市営住宅がたくさんあるのに、市営住宅を作る必要があるのか。
尾去沢	女性	40代	鹿角市すべての住宅のトイレが水洗トイレになってほしい。
十和田	男性	50代	仕事のため秋田県に来たが、退職後、社宅から出なければならず、住宅の相談に行っ

			たが、会社からの社宅退会の書類を作らなければ公営アパートに入居申請できないと言われた。機転が利かず、人材を重視しない街だと思った。
--	--	--	---

### 3-3-1 快適環境の創出

地区	性別	年代	内容
十和田	女性	50代	近くの養豚場の悪臭で窓を開けられない。洗濯物も干せないでエアコン等の電気代がかさむ。市はどのような指導、対応をしているのか。早急に対処してほしい。
花輪	男性	60代	季節によって異なるが、市役所の周辺を通ると養豚場の悪臭がする。鹿角の顔とも言える場所で、各種商店もあるので、市内住民はもちろん、市外から訪れる観光客も含めて様々な人からすると印象が悪い。

### 3-3-2 循環型社会の推進

地区	性別	年代	内容
十和田	無回答	30代	古紙ごみを捨てる時の紙ひもはそれであればいけないのか。結ぶ手間が面倒。紙袋ではダメなのか。
花輪	男性	50代	蛍光灯や電池の改修が年に1回、2回しかないで、ホームセンターや電気店に電池や蛍光灯の回収ボックスの設置をしてもらうなど働きかけてほしい。大館市にあるコメリパワー館では蛍光灯回収箱があります。大館市でできて鹿角市にできないことではないと思う。

### 3-4-1 防災体制の充実

地区	性別	年代	内容
十和田	女性	50代	土砂災害警戒区域の防災対策は何か行っているのか。避難所まで自力で移動できない人はどうするのか。土砂崩れの防止対策工事をぜひ実施してほしい。
尾去沢	女性	50代	災害レベルの強風や大雨が多く、近隣の家や人に被害が出かねない。

### 3-4-3 地域安全対策の充実

地区	性別	年代	内容
十和田	男性	30代	最近、高齢ドライバーの事故や子供が犠牲になるニュースをよく見かけます。市でも早くに対策をとったことは新聞で見ました。色々複雑な問題だとは思いますが、それでもできるだけ未然にこういう事故を防げるような政策やサポートが必要ではないかと思えます。
十和田	女性	30代	家の近くの外灯が1つにまとめられて暗くなった。クマが出て生活範囲が狭くなっているで、もう少し外灯を増やしてほしい。
尾去沢	男性	50代	未だに横断歩道のペイントが消えている所が多数ある。歩行者ファーストの意味がない。せめて春の交通安全週間前には横断歩道だけでも分かるようにしてほしい。
尾去沢	女性	50代	空き家について、特に住宅地にあるものは早急に対応してほしい。
尾去沢	女性	70代以上	家の前の道路の外灯の件について個人で電話したが音沙汰がない。自治会長に話すと手続きが面倒と言われた。夜帰宅すると家の前が暗くて、クマが出そうで怖い。今の外灯の位置はあまり意味が無いように思われる。

### 4-1-1 学校教育の充実

地区	性別	年代	内容
十和田	女性	40代	数年前に引っ越してきたが、学校の建物が古すぎると感じた。教育はいいが、そうい

			うところを見直してほしい。合併も遅すぎる。合併のタイミングで直してほしい。
尾去沢	男性	70代以上	通学路について、市側も歩いてみる必要があると思います。子供たちの目線で、各箇所を時間をかけて見て、話し合ってください。

#### 4-2-1 生涯学習の推進

地区	性別	年代	内容
十和田	男性	50代	コモッセ内のホール、ホワイエでの児童、生徒（中・高校生）、学生の勉強は禁止するようお願いします。公共施設の無料開放（児童生徒・学生限定）を要望。

#### 4-2-2 スポーツ環境の充実

地区	性別	年代	内容
十和田	男性	30歳未満	「駅伝とスキーのまち」とあるが、学校ではスキー授業をしていないのはなぜか。
花輪	男性	30代	「スキーと駅伝のまち」だが、少子化などのため地元の選手は減少、競技力も低下している。毎年のように全国大会を行っているが町部の関心はほとんどないか、もしくは伝わっていない。本当にスポーツが市を元気にするのか一度考えてほしい。
尾去沢	女性	30代	市で取り組んでいるスキーと駅伝のまちと各種大会を誘致していますが、実際に運営しているのは市職員ではないので、運営している関係者の処遇を本気で考えなければ今後の運営は厳しいと思います。限界になっています。この件に関して市としてどのように考え対応していくのかしっかりとした考えを教えてください。

#### 5-1-1 地域コミュニティの活性化

地区	性別	年代	内容
十和田	女性	30代	市民センターが入りにくい環境です。子供にも入りやすいところに欲しい。
十和田	女性	60代	高齢者社会になっていることは言うまでもないが、周りのコミュニティがよくなく、地域ごとの活動も見えてこない。個人情報のあることもありますが、顔を合わせる事が大事ではないかと考える。
八幡平	男性	60代	自治会館に健康運動機器（全身運動）を設置してほしい。

#### ①政策全般に関すること

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	30歳未満	ながくスキー、駅伝のまちやら歴史・文化の里を挙げているが具体的な新しい事業もなく向上心ややる気が見えてこない。日本全国停滞ムードの雰囲気なのわかるが、それでも何か一芸をもった自治体はメディアに取り上げられやすく、外から人・もの・金が出てきている。今までのやり方とは違う新しい取り組みが必要と思う。電力自給率の高さ、ドラゴンアイ、山菜など他にはないセールスポイントがまだある。YouTubeで動画を流しておくなら誰でもできる。市内外を問わず一般の人達に拡散されるような今風の宣伝をしていかなければせっかくの資源が無駄になってしまうと思う。
花輪	男性	30歳未満	遊ぶところがなく、郊外は買い物するところはあるが、商店街は若者が行くところはない。就職でも求人票だけではどんな職場が分からない。移住しても車がなければ不便。これだと鹿角市が栄えないし人口が減少するばかりで産業が衰退する。老人の声ばかりではなく、若者にもっと耳を傾けるべき。改革にはお金が必要。
十和田	女性	30歳未満	観光客や外部からのイベントなど市外から来てくれる人へのおもてなしはとて面白いと思うが、市内の活性化については偏りがあると感じる。もう少し若い世代が鹿角市

			にいてもいいと思える政策を進めてほしい。映画館が1つあっていい。十和田地区、八幡平地区をもっと活性化してほしい。
花輪	男性	30代	自分の頭で考え、周囲を巻き込み行動に移せる人間の育成。少数精鋭でも教育プログラム、学校等をつくりキーマンを育成する。キーマンは人脈を教育プログラムを通じて形成し、多面的なつながりをつくりビジネス事業を広げる。広く浅くではなく、少数に資源を集中させて育成することが必要ではないかと思う。プログラム卒業者は後輩を育成してよい文化を作る。薪はたくさんあっても着火剤の不足が地域発展のための課題になっていると思う。
花輪	男性	30代	自分が老後を過ごす地として住み続けられるか分からない。正直、地域のしがらみ、土地、家、仕事などの面がクリアできれば移住したいくらい先が見えない。
花輪	女性	30代	ちょっとしたショッピングモールがあると大変便利です。大館まで出なければならないので。公園に子供をつれてよく遊びに行きますが、草が生い茂っている、かぶれてしまったり、遊びにくいと感ずることがあります。花輪駅の近くに小児科があると助かります。ダイヤモンドナイトに続く映画作成をしてもらえたら街がまた盛り上がりそう。
花輪	女性	30代	病院もあまりなく、コンビニとドラッグストアしかない。他県になく、鹿角にある話題になるようなものを作ってほしい。鹿角物産展とか、岩手の土日ジャンボ市みたいなものを企画してはどうか。農家がたくさんいておいしいものを作っているのになかなか知ってもらえる機会がないと思う。
花輪	女性	30代	住宅・家賃の値が高く、市にお金を落とせません。光熱水道等は高くは感じませんが、家賃は高いと思います。生活費がかかると祭りごとや道の駅でのイベントなどで思うように買ったり食べたりできず、財布の紐を絞めてしまいます。改善や対策ができればよいと思います。“住みやすい”のはもちろんですが、“生活しやすい”も入れてほしいです。
十和田	男性	30代	公共事業主体からの脱却。
十和田	女性	30代	ここに住んでいる人は子供が大きくなって手が離れたら、自分も都会に行って住もうと思っている人が結構多い。外部へのアピールが弱い。特化したものがない。
十和田	女性	30代	移住に力を入れることも大切なことですが、今住んでいる市民の応援もよろしくお願いいたします。
十和田	女性	30代	十和田地区は電車の駅も高速のICもあり、環境を整えればもっと便利になり移住者も増えそうなのに、もったいない。病院や買い物を選択肢が少ないのでもう少し誘致してもらいたい。
花輪	女性	40代	若い人は大学進学で一度鹿角を出ることになるが、また戻ってきたいという街になるために・・・というところが足りないと思う。商店街も大切だが、ショッピングセンターを作るとか。個人的には犬を飼っているの、ドッグランがうれしい。公園とかキャンプ場とか、外の人が遊びに来てくれる街になることも大切だと思う。移住者の取り組みを多く見る気がするが「田舎だから」ではなく便利でない人は集まらない。結婚で鹿角に住むことになったが、周りの市町村がうらやましい。医療関係の職業上、介護保険や福祉サービスに関しては、みんな頑張っていて充実していると思いますし（施設は足りないと思うが）、高齢者への対応のように若い人が戻りたい、集まりたい街になることを望みます。
八幡平	女性	40代	人口減少と高齢化の対策をとってほしい。移住者を増やして人口も増やしてほしい。そのためには定年退職後の60代を受け入れるのが良いと思う。子育て世代を受け入れるところが多いが、経済的余裕がある人を受け入れ、その子、孫が観光に来るようにした方が現実的だと思う。
花輪	男性	50代	今後人口は減少するので、新たなことを始めるよりも、既にあるもののメンテナンスをよくする方がいいと思います。
花輪	女性	50代	花輪スキー場を立派にしても手放したり、あんとらあを作って全然意味なくお金を払

			っているように思える。もっと先のことを考えて、手放すくらいならお金をかけて作る必要があるのかと思う。
花輪	女性	50代	市が様々な観点でよりよくしていこうと政策を行っているのは分かるが、バラバラだったり、的外れな感じがして鹿角の将来像が見えてこない。移住に力を入れるのであれば、まず生活している人の満足を促進するべきであり、老後までも安心して暮らせる街であれば自然と人も集まるはず。各種補助金、助成金の手続きが形式を重視しすぎて時間と労力がかかり過ぎるとよく耳にする。田舎だからこそ、お役所仕事ではなく市民に寄り添った対応がもう少しできるのではないかと。個人的な要望として、コモッセのフリースペースを充実してほしい。明るさ、電源、しっかり使えるWi-Fiなど。
十和田	男性	50代	各方面にて援助金を増やしてほしい（住宅、電灯、塗装、車など、消耗品、劣化品に援助してほしい）。消費税率増に伴い、不安が増えています。
尾去沢	女性	50代	人口がどんどん減少している。医療の格差や若者が楽しいと思えるまちづくりをしないと衰退する。中高生にもどのようなまちであれば住みたいかアンケートを取ってみてはどうか。
八幡平	男性	50代	この鹿角がどうやったらもっとよくなるのか、私も検討中です。
花輪	女性	60代	移住者に対してのおもてなしは一般市民としてはうらやましいくらいだが、市民の一人ひとりの生活はどんなものか知ってほしい。障害者だが、いろいろな場所での駐車場で普通の人が（若い人やシルバーマーク）車いす専用にとり前に停めている。マナーが悪い。
尾去沢	男性	60代	市政が進もうとしている方向がよく分からない。総花的で中身がないように感じています。スポーツ関係は頑張っているのが伝わりますが、大きな大会など、交通・宿泊と駐車・式典会場など、まだバランスが悪いと思います。コモッセについては、もう少し大きい収容力のある施設にしてほしかった。市内外から参集するイベントを持ってこられない中途半端さだと思います。大局的なプラスでお願いしたい。
十和田	男性	60代	市の政策と直接かかわりはないかもしれないが、高等学校の再編について、花輪の街、しいては鹿角の街づくりのためにも、現在の花輪高校の校舎活用を願っています。新たに100億の県税を使うことなく、様々な補助金を得ながら、中味の充実をと願っています。そのためにも花輪の人たちにもっと頑張ってもらいたいし、市役所でも応援し、考えを出してほしい。
十和田	女性	60代	若い人たちも安心して生活できる環境づくりを希望している。
十和田	女性	60代	隣接する市や県外と協力して政策を考えてほしい。人事も実力のある人を見つけ出して市のためにプラスになるようにしてほしい。

## ②職員・市の窓口に関すること

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	30代	市役所の空気が悪いので、できれば足を運びたくない。
花輪	女性	30代	日々のご尽力感謝申し上げます。市の職員さんの中にも市民として思うところがあるかと思えます。身近な頼れる存在として今後ともよろしく願いいたします。
十和田	女性	30代	最近引っ越してきたので、いろいろ手続きがあり不安でしたが、とても丁寧に教えていただいて分かるまで説明していただいたりと、とても助かりました。安心しました。
十和田	女性	30代	各種手続きについて。毎年異動があると思いますが、手続きについて問い合わせても、「分からないので別の者に代わります」と言われたことが多々あった。研修等を行い、移動後もスムーズに対応してほしい。
花輪	女性	40代	申告について。高齢者が申告するにあたり、持参していくものや手続きが大変に思うことがあった。

十和田	女性	50代	市外から転入してきたが、転入時の窓口対応が不親切だった。ネット環境を確認せず、ホームページに掲載していますという回答はいかなものか。各種パンフレットも情報量が少なすぎる。工夫が足りないと思う。
十和田	女性	50代	市長、職員には日頃より住民のために頑張っていただきありがたく思います。今後も鹿角市をよりよく盛り上げていくように頑張ってください。
十和田	女性	60代	以前より良くなったとは思いますが、窓口にいる人はもっとわかりやすく説明してくれたらありがたいです。公の文章は分かりづらいものが多々あります。
無回答	無回答	無回答	市長、市議、職員の皆さま、それぞれに頑張っていらっしゃると感謝します。

### ③アンケートに関すること

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	40代	アンケートの内容が回答しづらいのが多い。

### ④その他

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	30代	市民の声を受け入れてくれる人が身近にいない不便を感じる。設問14はほぼ全てにおいて改善を求め、自治会等協力できることがあれば声をかけ、市民一丸とならなければ改善することはできない。他人任せの市民が多いのも問題。
十和田	男性	30代	助成制度がある場合、聞かないと教えてくれないので、該当しそうな時は教えてほしい。
十和田	女性	30代	気温が高くなると公園の遊具が熱くなりすぎて子供が遊べません。一部の公園でいので日陰を作るとか何か対策をしてほしい。ドライブスルーの飲食店があれば助かる。子供が車内で寝ていると買い物に行けないときがある。
尾去沢	女性	30代	市民プールの駐車場を広くできないか。1台あたりのスペースが昔の車のサイズで、今の子育て世代に多い車には狭すぎる。利用者も多く、子供たちも飛び出すし、前の道路を車で走ると怖い。危険だと思う。あらゆる場所で駐車場が狭い。24時間無人のコインパーキングが増えたらいい。路上駐車や本来用のない他店舗の無断駐車が多く迷惑している。
八幡平	男性	30代	人口減少時代だからこそ目先にとらわれず、種をまき育てていく気持ちになって市政に取り組んでくれると嬉しく思います。
八幡平	女性	30代	福祉保健センターも市役所のそばにあると手続きが早くて便利だと思う。その他の施設はまとまっていて便利。
花輪	男性	40代	人それぞれだが、目的を同じくする人との交流などが楽しくなればいいと思う。
花輪	女性	40代	マイナンバーカードを作りたいが、手続きが面倒そう。支所などでも手続きできれば仕事の合間にできそうだが、書類をそろえるのが面倒な気がする。
十和田	女性	40代	ペット病院が1件でもあれば大館までいなくてもよい。
十和田	無回答	40代	コモッセやMITプラザの駐車場を夜間利用させてもいいのではないかな。全部でなくても一部でもいいと思う。
花輪	男性	50代	今年4月に転勤で鹿角市に参りました。1番感じたことは「水がおいしい」ことです。市内を流れる川の水もきれいで朝から気持ちがいい、鹿角のおいしい水で炊いたご飯もおいしい。おいしい水、おいしい空気を市としてもっとアピールするべきだと思います。転勤でいろんな場所で生活してきましたが、当市の水、空気は間違いなくナンバーワンです。空気がきれいなこと、水が安全でおいしいことは生活するうえでプライオリティが高いことだと思います。
花輪	女性	50代	市民生活に寄り添って、情報提供、市民が気軽に相談できる環境をこれからもお願い

			いたします。
尾去沢	男性	50代	融雪溝のない自治会の雪はこまめに運搬してほしい。また、バス会社は人材不足で冬のバス停の除雪はできないので、市でしっかりやってください。
尾去沢	男性	50代	家のローンの支払いだけで生活ぎりぎりなので固定資産税を軽減してほしい。
花輪	男性	60代	政策、事業等、今何を重点的に進めているか知る機会がなかったので分からない。
花輪	無回答	60代	東京に40年ほど住み去年に花輪に越してきました。正直、東京とは生活環境が違いすぎ、あらゆる面で不便さを感じています。パン1個、ボールペン1本買うために片道20～30分も歩く現実。田舎は車社会だと聞いてはいましたが、自家用車をもたないものにとってはとても住み心地の悪い街だと感じています。でも不平不満ばかり言っても何もよくなるので何とか花輪の良いところを見つけて充実した老後をごせるように努力したいと思っています。とりあえず「水道水」がおいしいことと犯罪が少ないところは素晴らしいと思います。
十和田	女性	60代	広報等、読みやすいものを作っていると思う。
十和田	無回答	60代	市議会議員の数が多すぎる。10人で十分だ。その分住民税を減らす。
八幡平	女性	60代	高校生が地元に残れるようにしてもらいたい。花輪ばやし、みんなで楽しんで見られるように。老人の除雪。市への困りごと相談はどこにすればよいか。共済組合の獣医を2人体制にしてほしい。
十和田	女性	70代以上	鹿角市は生活していくにはいい所です。ただ税金の支払いに追われている感じです。

資 料



令和元年度市民アンケート回答票



## 子育てについておたずねします。

設問2① あなたは、鹿角市が子育てしやすいまちだと感じますか。

1. 感じる
2. どちらかといえば感じる
3. どちらかといえば感じない
4. 感じない

設問2② 現在、ご自分が子育てをされている方におたずねします。どのような子育て支援の充実が必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 休日保育や一時預かりなど保育サービスの充実
2. 保育料や教育費用などの負担軽減の充実
3. 出産に係る費用助成の充実
4. 子どもに対する医療費助成の充実
5. 児童手当支給終了年齢の引き上げや支給額増額などの充実
6. その他 ( )



## 中心市街地についておたずねします。

**設問 5** あなたは、花輪市街地の生活環境（住みごこちだけでなく、交通の便や公共施設の配置など中心地としてのまちの便利さ）に満足していますか。

1. 満足している	不滿と感ずる理由
2. やや満足している	
3. やや不満足である →	
4. 不満足である →	

## 男女共同参画の状況についておたずねします。

**設問 6** あなたは、地域社会全体でみた場合、男女の地位は平等になっていると思いますか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。

1. 男性の方が優遇されている
2. どちらかといえば男性の方が優遇されている
3. 平等である
4. どちらかといえば女性の方が優遇されている
5. 女性の方が優遇されている

### ▼男女共同参画社会

固定的な男性観、女性観にとらわれず、男女が社会の対等な構成員として、自らの意思で個性と能力を發揮することができる社会をいいます。

**芸術鑑賞についておたずねします。**

**設問 7** あなたは、昨年 1 年間に市内外で芸術鑑賞（音楽、演劇、美術館、展覧会等全般）をしましたか。

1. 鑑賞した 2. 鑑賞しなかった	→ そのうちコモッセで鑑賞したものはありますか。  1. はい  2. いいえ
-----------------------	--

**コモッセの利用状況についておたずねします。**

**設問 8** あなたは昨年、コモッセをどの程度利用されましたか。

1. 毎週 2. 月 1 回程度 3. 年 3 回程度 4. 年 1 回 5. 利用しなかった	→ 利用しなかった理由
---	----------------

**運動の実施状況についておたずねします。**

**設問 9** あなたは、普段どれくらい「運動」（ウォーキングや軽い体操）や、健康を意識した「生活活動」（農作業や家事、階段の上り下り等も含む）を行っていますか。また、1回あたりの運動や活動の時間はどのくらいですか。

1. ほぼ毎日	→	主に行っている運動や活動： _____  1回あたりの時間： 約 _____ 分
2. 週に1回程度	→	
3. 月に1回程度	→	
4. ほとんど行っていない	→	

**地域コミュニティについておたずねします。**

**設問 10** あなたは、昨年1年間に社会活動や地域活動（ボランティア活動、自治会活動（クリーンアップ・運動会・スキー大会等含む）など）にどの程度参加しましたか。

1. 10回以上	→	理由をお書きください
2. 4回～9回		
3. 3回以下		
4. 参加しなかった		

**住みごころについておたずねします。**

**設問 11①** あなたにとって、鹿角市の住みごころはどうか。あてはまるもの 1つ に ○をつけてください。

1. 住みよい	2. まあ住みよい	3. どちらともいえない
4. あまり住みよくない	5. 住みにくい	6. わからない

**設問 11②** 住みごころについて考えたとき、よいと感じる理由とよいと感じない理由を下表の中から、それぞれ 3つまで選び、番号を記入してください。

よいと感じる理由			
⑪その他 を選んだ方は、内容をご記入ください➡			
よいと感じない理由			
⑪その他 を選んだ方は、内容をご記入ください➡			

- ① 住居環境に満足しているから（満足していないから）
- ② 働く環境に満足しているから（満足していないから）
- ③ 通勤や通学などに便利だから（便利ではないから）
- ④ 買い物に便利だから（便利ではないから）
- ⑤ スポーツや娯楽など充実した余暇を過ごしているから（過ごせていないから）
- ⑥ 自然の豊かさや気候などの環境に満足しているから（満足していないから）
- ⑦ 医療や福祉環境に満足しているから（満足していないから）
- ⑧ 子育てや教育環境に満足しているから（満足していないから）
- ⑨ 地域住民の付き合いが充実しているから（充実していないから）
- ⑩ 治安（防犯）や災害への不安が小さいから（大きいから）
- ⑪ その他

## 愛着についておたずねします。

設問 12 あなたは、鹿角市に愛着をもっていますか。

1. 愛着がある                      2. 愛着はない

## 将来のまちの姿についておたずねします。

設問 13 あなたや家族、地域のひとが将来にわたって豊かに暮らすために、大切だと思うまちの姿を **3つまで選び**○をつけてください。

1. 職業選択が豊富で、経済成長し続ける「地域産業が活発なまち」
2. 誰もが健康に暮らせ、福祉が充実した「健康と福祉のまち」
3. 多くの観光客や市外との交流が活発な「観光・交流のまち」
4. 伝統や文化が継承され「歴史文化が息づくまち」
5. 娯楽や買い物施設が多く、余暇活動が充実した「商業・レジャーのまち」
6. 災害や犯罪の少ない「安心・安全のまち」
7. 住民がつながり、誰もがまちづくりに参画する「市民総参加のまち」
8. 農山村環境が守られ、「自然と共生するまち」
9. 子育てや教育環境が充実した「子育てと教育のまち」
10. 環境資源と先端技術を活用した「新エネルギーのまち」

**市の政策についておたずねします。**

設問 14① 市が進めている取組の中で、効果を得られていると感じるものを**下表の 36 項目 (①～⑳)** から順に**5つ**選んでください。(理由がありましたらその記入をお願いします。)

1 番：                      理由：  
\_\_\_\_\_

2 番：                      理由：  
\_\_\_\_\_

3 番：                      理由：  
\_\_\_\_\_

4 番：                      理由：  
\_\_\_\_\_

5 番：                      理由：  
\_\_\_\_\_

農林業の振興	
①	農業経営体の育成強化
②	農業生産の振興
③	農地の保全
④	林業の振興

福祉の充実	
⑩	地域福祉の充実
⑪	子育て支援の充実
⑫	高齢者福祉の充実
⑬	障がい者福祉の充実

商工業の振興	
⑤	商店街の活性化
⑥	地域産業の活性化(雇用創出、高度化)
⑦	雇用の安定(就職支援)

保健・医療の充実	
⑭	健康づくりの推進
⑮	母子保健の充実
⑯	地域医療体制の充実

観光業の振興	
⑧	観光の振興
⑨	地域間交流の推進

交通基盤の整備	
⑰	公共交通の確保
⑱	道路網の整備

設問 14② 市が進めている取組の中で、もっと「ちから」を入れて欲しいと感じるものを下表の 36 項目 (①～③⑥) から順に 5 つ選んでください。(理由がありましたらその記入をお願いします。)

1 番：                      理由：  
\_\_\_\_\_

2 番：                      理由：  
\_\_\_\_\_

3 番：                      理由：  
\_\_\_\_\_

4 番：                      理由：  
\_\_\_\_\_

5 番：                      理由：  
\_\_\_\_\_

住環境の整備	
⑱	地域情報化の推進 (インターネット環境)
⑳	生活排水処理の推進
㉑	水道水の安定供給
㉒	市街地の整備
㉓	住宅の整備

環境づくり	
㉔	快適環境の創出 (自然・ごみ処理)
㉕	循環型社会の推進 (リサイクル・再生エネ)

市民生活の安全確保	
㉖	防災体制の充実
㉗	消防・救急体制の充実
㉘	地域安全対策の充実

学校教育の推進	
㉙	学校教育の充実

生涯学習・スポーツ・文化の推進	
㉚	生涯学習の推進
㉛	スポーツの推進
㉜	芸術・文化の振興

市民参加と地域づくりの推進	
㉝	地域コミュニティの活性化
㉞	ライフデザインの支援 (男女共同参画)
㉟	国際交流の推進
㊀	鹿角ライフの促進 (移住定住)



令和元年度  
市民アンケート実施結果報告書

令和元年 8 月  
鹿角市総務部政策企画課総合戦略室  
電話：0186-30-0201  
FAX：0186-30-1122  
E-mail：kikaku@city.kazuno.lg.jp